

会 告 目 次

IPSJ KAIKOKU

究発表会開催通知 .....	2
第 19 回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会 .....	2
第 35 回 情報学基礎研究会 .....	3
第 57 回 ヒューマンインタフェース研究会 .....	3
第 97 回 人工知能研究会 .....	3
第 104 回 自然言語処理研究会 .....	4
第 101 回 ソフトウェア工学研究会 .....	4
第 42 回 アルゴリズム研究会 .....	5
第 24 回 人文科学とコンピュータ研究会 .....	5
第 78 回 記号処理研究会 .....	6
第 8 回 音楽情報科学研究会 .....	6
第 91 回 コンピュータビジョン研究会 .....	7
短期高等教育における情報処理教育の実態に関する調査研究報告書」頒布のお知らせ .....	9
報処理学会第 50 回全国大会実施要領 .....	10
報処理学会「行事」・「書籍」申込書 .....	17
ンピュータシステム・シンポジウム」参加者募集 .....	18
会協賛等の行事案内 .....	19
ジネス・プロセス・リエンジニアリングのための最新情報テクノロジーの理論と実践 .....	20
グループウェア '94 シンポジウム」参加者募集 .....	21
6 回利用者指向の情報システムシンポジウム」参加者募集 .....	23
アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム' 94 及び併設講習会」参加者募集 .....	25
情報ネットワーク (IEEE ICOIN) ワークショップ」参加者募集 .....	26
1 回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 (APSEC '94) 開催について .....	27
25 回画像工学コンファレンス .....	30
36 回プログラミング・シンポジウム」参加者募集 .....	34
RST CALL FOR PAPERS 1995 年並列処理シンポジウム .....	37
3 回ネットワークとプロトコルに関する国際会議 (IEEE ICNP-95)」論文募集のご案内 .....	38
4 回「基礎研究の振興と工学教育シンポジウム」参加者募集 .....	38
部だより .....	39
費・購読費の預金口座自動振替納入について .....	40
成 6 年度会費・購読費の納入について (お願い) .....	40
官 募 集 .....	41
議 案 内 .....	43
集 室 .....	44
料会告について .....	44

## 研究発表会開催通知

(平成6年10月15日～11月30日)

研究会名	日時		会場	詳細
情報システム	10月18日(火)	13:30～17:15	情報処理学会(芝浦)	前号 5頁
音声言語情報処理	10月21日(金)	10:00～17:00	東工大	6頁
ハイパフォーマンスコンピューティング	10月27日(木)	13:00～17:30	お茶の水女子大	6頁
計算機アーキテクチャ	10月27日(木) 10月28日(金)	13:00～16:30 9:30～15:00	奈良先端大	6頁
設計自動化	10月27日(木) 10月28日(金)	13:30～17:00 9:00～17:00	石川ハイテク交流センター	7頁
プログラミングー言語・基礎・実践ー	11月4日(金)	10:00～16:45	岡山大	本号 2頁
情報学基礎	11月9日(水)	10:30～16:45	情報処理学会(芝浦)	3頁
ヒューマンインタフェース	11月10日(木)	10:00～17:00	日立(関西)	3頁
人工知能	11月15日(火)	14:00～16:30	情報処理学会(芝浦)	3頁
自然言語処理	11月17日(木) 11月18日(金)	9:45～16:00 9:45～16:30	NEC(関西)	4頁
ソフトウェア工学	11月18日(金)	9:00～17:30	機械振興会館	4頁
アルゴリズム	11月18日(金)	9:00～17:30	東北大	5頁
人文科学とコンピュータ	11月18日(金)	10:00～16:40	沖縄県立図書館	5頁
記号処理	11月18日(金)	13:00～17:15	豊橋技科大	6頁
音楽情報科学	11月19日(土) 11月20日(日)	9:30～17:30 9:30～12:10	沖縄芸大	6頁
コンピュータビジョン	11月24日(木)	9:20～17:30	信州大	7頁

## ◆第19回 プログラミングー言語・基礎・実践ー研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 萩谷昌己, 幹事: 大堀 淳, 柴山悦哉, 松岡 聡)

日時 平成6年11月4日(金) 10:00～16:45

会場 岡山大学 情報工学科

[岡山市津島中3-1-1, JR: 岡山下車, バス(ターミナル1番乗場): 妙善寺行(17番)で岡大東門下車。

Tel.(086)256-0833]

## 議題

- 10:00～12:15 -

- (1) 経路依存フローグラフを用いたプログラム・スライスの形式的定義とその妥当性 直井邦彰, 高橋直久 (NTT)  
 (2) 単純停止性の拡張について 小川瑞史 (NTT)  
 (3) CCB: ブロードキャスト機能を持つプロセス代数の提案 磯部祥尚, 佐藤 豊, 大蒔和仁 (電総研)

- 13:30～16:45 -

- (4) 矛盾による否定と二重否定問題 足立 亘 (NTT), 山崎 進 (岡山大)  
 (5) Higher Order Categorical Logic の Subformula Property を持つ Deductive System 樺 肅之 (NTT)  
 (6) 有限的ラムダ計算から無限的ラムダ計算へ Fer-Jan Vries (NTT)  
 (7) Chew の定理の新しい証明について 真野 健, 小川瑞史 (NTT)

## ◆第35回 情報学基礎研究会

(発表件数：7件)

(主査：石塚英弘，幹事：田村貴代子，千村浩靖，中川 優)

日 時 平成6年11月9日(水) 10:30～16:45

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F, JR:田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線):三田下車, 徒歩10分. Tel.(03)5484-3535]

議 題 テーマ：情報に関わる基礎的問題の検討

●DBの作成と検索 - 10:30～12:00 -

(1) 電子投稿によるSGML方式全文データベースの作成 - 日本化学会の実験 -

石塚英弘(情報大), 伊藤 卓(横浜国大), 竹内敬人(東大), 千原秀昭(化情協), 中野英彦(姫路工大)  
眞野偉一(信州大), 吉村忠与志(福井高専), 中西敦男(日本化学会), 田中洋一(凸版印刷)

(2) MEDLINE CD-ROM版におけるMeSH利用の問題点 菅野育子, 草田直子(愛知淑徳大)

●情報の共有と概念知識 - 13:00～16:45 -

(3) 情報技術の国際化 - アジア情報技術標準化フォーラムSIGの活動 -

内藤衛亮(学情センター), 佐藤敬幸(YHP)

(4) 概念中心型文書管理と全文検索による情報共有 藤澤浩道, 加藤寛次, 小島啓二, 友広修造, 和歌山哲(日立)

(5) 概念空間のモデルと専門用語の構造化 頼 静, 陳 漢雄, 藤原 譲(筑波大)

(6) 量的判断常識人工知能における推論方式 熊本 睦, 島田茂夫, 飯田敏幸(NTT)

(7) 情報の分析・解析: 具体例紹介 矢島輝邦(日立ソフト)

## ◆第57回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数：9件)

(主査：安西祐一郎，幹事：井関 治，小川克彦，来住伸子)

日 時 平成6年11月10日(木) 10:00～17:00

会 場 日立製作所 システム開発研究所 関西システムラボラトリ

[大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル10F(1Fは池田銀行), JR:新大阪下車, 市営地下鉄(御堂筋線):心斎橋(1番出口)下車, 北(梅田方面)へ徒歩5分. Tel.(06)281-1500]

議 題

●マルチメディアインタフェース - 10:00～11:45 -

司会：廣瀬 正(日立)

(1) 音声メディアとテキストメディアがユーザに与える影響の差について 海老名毅, 伊藤 昭(通信総研)

(2) ポータブル端末上のメタファ・キャラクタ・インタフェースの試作 加藤清志, 中尾敏康, 宮井 均(NEC)

(3) オブジェクトベース世界に対するヒューマン-コンピュータ・インタラクション機構とその設計

上原 均, 畠山正行(茨城大)

●日立関西システムラボラトリのデモンストレーション (昼休み)

●インタフェースとコミュニケーション - 13:00～14:10 -

司会：山本吉伸(電総研)

(4) 自然語インタフェースの構築：方法論と適用例 辻 洋, 難波康晴, 間瀬久雄, 森本由紀子, 絹川博之(日立)

(5) 遠隔インフォーマル対話におけるアウェアネス支援 広明敏雄, 國枝和雄, 宮井 均(NEC)

●文書処理インタフェース - 14:25～15:35 -

司会：山田尚勇(学情センター)

(6) 仮名漢字変換システムにおける自動単語登録手法の設計と実現 丸山芳男(農工大), 酒井貴子(日立)

下村秀樹(NEC), 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)

(7) 文書検索システムの動的抄録提示インタフェースの評価 酒井哲也, 三池誠司, 住田一男(東芝)

●認知インタフェース - 15:50～17:00 -

司会：渡辺 睦(東芝)

(8) シミュレータ実験によるドライバのエラー再現 大野宏司, 本郷武朗(豊田中研)

(9) 描画における視覚認知過程について 鬼塚武郎

## ◆第97回 人工知能研究会

(発表件数：3件)

(主査：中島秀之，幹事：加藤 浩，沼尾正行，橋田浩一)

日 時 平成6年11月15日(火) 14:00～16:30

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

議 題

(1) 野草検索エキスパートシステムへのニューラルネットワークを用いたファジィ推論の適用

越石英行, 唐澤 博(山梨大)

(2) ルールベース推論と事例ベース推論の統合化の一手法 渡辺博芳(帝京大), 奥田健三(作新学院大)

(3) Relaxing Bias on First Order Theory Formation Chowdhury Rahman Mofizur, 沼尾正行(東工大)

◆第104回 自然言語処理研究会

(発表件数：19件)

(主査：新田義彦，幹事：丹羽芳樹，久光 徹，丸山 宏)

日 時 平成6年11月17日(木) 9:45～16:00  
18日(金) 9:45～16:30

会 場 NEC関西ビル 31F プレゼンテーションルーム

[大阪市中央区城見1-4-24, JR(大阪環状線, 学研都市線), または京阪線:京橋下車, OBP方面(大阪城方面)へ徒歩10分. Tel.(06)945-3217 市山]

議 題

11月17日(木)

— 9:45～12:00 —

- (1) 計算機用日本語基本名詞辞書における見出し語の下位区分 桑畑和佳子, 橋本三奈子 (IPA)  
(2) 計算機用日本語基本名詞辞書における意味素性の設計 青山文啓 (東海大), 橋本三奈子 (IPA)  
(3) OCR後処理の効率化について 久光 徹, 丸川勝美, 嶋 好博, 藤澤浩道, 新田義彦 (日立)  
(4) 複数候補を出力する非文訂正法のOCR出力の誤り訂正への応用とその候補選出について 渥美清隆, 増山 繁 (豊橋技科大)

— 13:00～16:00 —

- (5) アクセント位置情報を用いた日本語音節文候補の絞り込み 荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 横川秀人 (福井大)  
(6) 文字列と後続文字との接続割合の変化を利用した文末表現の自動抽出 新納浩幸 (茨城大)  
(7) 複数キーワードによる全文検索の高速化 有田 健, 津田和彦, 入口浩一, 青江順一 (徳島大)  
(8) 用例文探索のための効率的検索アルゴリズム 弘田正雄, 森本勝士, 津田和彦, 青江順一 (徳島大)  
(9) キーワード抽出と辞書構築の効率化手法 林 叔隆, 獅々堀正幹, 津田和彦, 青江順一 (徳島大)

11月18日(金)

— 9:45～12:30 —

- (10) 格ボタン分析を利用した日本語動詞の深層格獲得手法について 大石 亨, 松本裕治 (奈良先端大)  
(11) コーパスからの動詞の格フレーム獲得と名詞のクラスタリング 平岡冠二, 松本裕治 (奈良先端大)  
(12) コーパスに基づく自然言語処理のサーベイ (1994) 野美山浩, 渡辺日出雄, 浦本直彦, 荻野紫穂, 武田浩一 (日本IBM)  
(13) 翻訳対象分野の事例を用いた分野適応型翻訳機構 山田節夫, 中岩浩巳, 小倉健太郎, 池原 悟 (NTT)

— 13:00～16:30 —

- (14) トートロジーの工学的理解の試み 滝澤 修 (通信総研関西)  
(15) 関連性理論を用いた適切な文脈の選択と決定 平沢純一, 松本裕治 (奈良先端大)  
(16) 対話のインタラクション構造と話題の認識 巖寺俊哲, 石崎雅人, 森元 暉 (ATR)  
(17) 日本語の時の解釈を支援するシステム 鬼頭 哲, 横尾英俊 (群馬大)  
(18) 日英機械翻訳のためのプリエディット支援ツールの開発 松平正樹 (沖電気)  
(19) マルチウィンドウシステムに対する音声操作 谷 幹也, 芝 温子, 市山俊治 (NEC)

\* 17日の研究会終了後, 懇親会を予定しています (当日会場にて受付).

◆第101回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：14件)

(主査：磯田定宏，幹事：青山幹雄，深澤良彰，松村一夫)

日 時 平成6年11月18日(金) 9:00～17:30

会 場 機械振興会館 B3F 研修1号室

[東京都港区芝公園3-5-8, 地下鉄:日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 徒歩約10分. またはJR:浜松町下車, バス:渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel.(03)3434-8211]

議 題

— 9:00～11:45 —

- (1) 構造化オブジェクトモデリング環境 SOME — SOMMに基づくOOA/OOD — 原田 実, 澤田隆史, 藤沢照忠 (青学大)  
(2) オブジェクトのグループ化を支援する視覚的な開発環境の実現 川上 豊, 加藤康之, 満永 豊 (NTT)  
(3) 階層構造を利用するオブジェクト指向設計 小林大輔, 大森 晃 (東京理科大)  
(4) オブジェクトの多面性表現のためのクラスバージョンの導入 志村秀人, 上田賀一 (茨城大)  
(5) 分散オブジェクトによるプリンタ・サーバ 渡辺治彦, 大平 剛 (日本IBM)

— 12:30～17:30 —

- (6) メタレベル・アーキテクチャを利用したオブジェクト管理システムの構成法について  
藤枝和宏, 落水浩一郎 (北陸先端大)
- (7) 分散ハイパーテキストによるオブジェクト指向ソフトウェアの部品管理と協同開発支援  
大月美佳, 吉田紀彦, 牧之内顕文 (九大)
- (8) オブジェクトベース・リポジトリを用いたオブジェクト生成支援環境  
加藤木和夫 (日立プロセスコンピュータエンジニアリング), 畠山正行, 小林秀行 (茨城大)
- (9) ソフトウェア環境におけるリポジトリ要件  
堀内 一 (東京国際大)
- (10) アクティブデータベースの動向と応用へのインパクトについて  
小島 功 (電総研)
- (11) 非手続き仕様からのプロセス設計の自動化システム EOS/P  
原田 実, 西村淳一 (青学大)
- (12) 時制論理を用いた LOTOS 仕様生成統合支援システムの作製  
伊藤光裕, 布施和博, 安藤敏彦, 加藤 豊 (仙台電波高専), 高橋 薫 (AIC)
- (13) Unix 通信ドライバのためのテスト実行環境の実現  
西木健哉, 平田俊明, 松永和男 (日立)
- (14) ベトリネットに基づく OS のためのテストプログラムジェネレータの試作  
渡辺晴美, 工藤知宏 (東京工科大)
- \* 電子情報通信学会 (データ工学研究会) と共催。

## ◆第 42 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 14 件)

(主査: 浅野哲男, 幹事: 加藤直樹, 鈴木 均, 徳山 豪)

日 時 平成 6 年 11 月 18 日 (金) 9:00 ~ 17:30

会 場 東北大学 工学部 電気情報系 451 室 (4F)

[仙台市青葉区荒巻字青葉, JR: 仙台下車, バス (西口バスプール 9 番): 宮教大行, 成田山行, 青葉城址循環のいずれかにて工学部前下車。(タクシーでは約 15 分 (1,300 円程度)). Tel.(022)222-1800 (ext.4289)]

議 題

- 9:00 ~ 12:00 -

- (1) Efficient Algorithms for the Simplicity-Preserving Augmentation Problem  
田岡智志, 渡辺敏正 (広島大)
- (2) あるクラスの 3-連結グラフに対する点被覆問題の線形時間解法  
柴田勲男, 渡辺敏正 (広島大)
- (3) 弱可逆有限オートマトンの分解に関するいくつかの結果  
鮑 豊, 五十嵐善英, 千 小梅 (群馬大)
- (4) 一変数多項式を成分に持つ行列の行列式の計算について  
鈴木治郎 (信州大)
- (5) A New Framework on Constrained Page Migration Problem  
Susanne Albers (Max-Planck-Institut), 古賀久志 (東大)
- (6) Parallel Algorithms for Finding a Maximal Set of Paths with Application to Compressing Strings  
陳 致中 (東京電機大)

- 13:00 ~ 17:30 -

- (7) A Fast A\* Algorithm for Multiple Sequence Alignment  
池田崇博, 今井 浩 (東大)
- (8) ハイパーキューブの次数を考慮した耐故障グラフ  
山田敏規, 上野修一 (東工大)
- (9) 停止故障耐性を考慮した自律移動ロボット群のための協調問題解法について  
吉田大輔, 増澤利光, 藤原秀雄 (奈良先端大)
- (10) Optimal Approximation of a Curve by a Polygonal Chain with Vertices on Grid Points  
浅野哲夫 (大阪電通大), 加藤直樹 (神戸商大), Elena Lodi (Univ. of Siena), Thomas Roos (ETH, Zurich)
- (11) The f-Coloring is Polynomial-Time Reducible to the Edge-Coloring  
周 暁, 西関隆夫 (東北大)
- (12) Generalized Rankings of Trees  
周 暁, 永井伸明, 西関隆夫 (東北大)
- (13) 最小構造を最大にする部分集合について  
岩野和生 (日本 IBM), 加藤直樹 (神戸商大), マグナスハルドソン (北陸先端大), 徳山 豪 (日本 IBM)
- (14) 特別講演: Randomized Algorithms  
Prabhakar Raghavan (IBM ワトソン研究所)

## ◆第 24 回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 及川昭文, 幹事: 竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成 6 年 11 月 18 日 (金) 10:00 ~ 16:40

会 場 沖縄県立図書館

[那覇市寄宮 1-2-16, 沖縄那覇空港より琉球バスまたは沖縄バス: 与儀公園前下車 (那覇バスターミナル乗換で 35 分), または空港よりタクシー (25 分). Tel.(098)834-1218]

議 題

- 10:00 ~ 12:00 -

- (1) 電子図鑑の開発手法に関する一考察  
小林幸也, 高橋一夫, 水野秀紀 (富士通 SSL)

- (2) 絵画における感性情報の抽出 —背景色と主要色の抽出— 八村広三郎 (立命館大), 英保 茂 (京大)  
 (3) 主観的概念推論システムの開発 —主観的確率概念の推論— 坂谷内勝 (国立教育研)

— 13 : 00 ~ 16 : 40 —

- (4) 知的生産支援システム Wadaman の仮想現実環境の評価 由井園隆也, 宗森 純, 長澤庸二 (鹿児島大)  
 (5) マルチプランによる近世琉球元文検地の分析 安里 進 (浦添市教育委員会)  
 (6) 貝塚データベースの数量的分析 及川昭文 (茨城大)  
 (7) 漢字学習支援データベースのデザインについて シュテファン カイザー (筑波大)  
 (8) コンピュータを利用した漢字力診断テスト (CAT) の開発 (3) 山元啓史, 加納千恵子 (筑波大)

◆第78回 記号処理研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 小川貴英, 幹事: 天海良治, 寺田 実, 湯浦克彦)

日 時 平成6年11月18日(金) 13:00~17:15

会 場 豊橋技術科学大学 C棟 2F C-204号室

[豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1, JR(東海道線):豊橋下車, 豊鉄バス細谷線(3番乗場):細谷東行, 福祉村行, 技科大前行のいずれかにて技科大前下車(約25分). Tel.(0532)47-0111]

議 題

- (1) クラス定義空間の多重化機能を実現下オブジェクト指向 Scheme 前畑淳也, 碓崎賢一 (九工大)  
 (2) 仮想記憶を利用した並列ガーベジコレクションの高速記憶割り当て 小出 洋, 鈴木 貢 (電通大)  
 (3) レジスタの少ないプロセッサにおける擬似定数の保持方式 金子敬一 (東大)  
 (4) 超並列数式処理系の並列 LISP プログラム作成技法 清野博之, 斎藤制海, 湯浅太一 (豊橋技科大)  
 (5) 公式データベースによる不定積分の求解パッケージ 高橋岳之, 長野英二, 斎藤制海 (豊橋技科大)

◆第8回 音楽情報科学研究会

(発表件数: 13件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 嶋津武仁, 志村 哲, 鈴木 孝)

日 時 平成6年11月19日(土) 9:30~17:30

20日(日) 9:30~12:10

会 場 沖縄県立芸術大学 附属図書芸術資料館 会議室

[那覇市当蔵1-4, 那覇空港よりタクシー(25分). Tel.(098)831-5038]

議 題

11月19日(土)

— 9 : 30 ~ 12 : 10 —

- (1) ジャズの伴奏からの, 調性を考慮した感性情報抽出 平井重行, 金森 務, 平井 宏 (京都工繊大)  
 (2) 情動に相関のある楽曲中のパラメータについて 日間賀充寿, 大西 昇 (名大), 杉江 昇 (名城大)  
 (3) 演奏ルールの抽出と再現 玉城謙一 (阪大), 片寄晴弘 (LIST), 井口征士 (阪大)  
 (4) マルチメディアを用いた楽器データベース —分類とデータ構造の検討— 鈴木 孝 (東京工業高専)

— 13 : 30 ~ 17 : 30 —

- (5) 沖縄古典音楽における歌詞音列の類型 金城 厚 (沖縄県立芸大)  
 (6) 八重山の学校教育における郷土音楽の実践 大山伸子 (沖縄県立芸大)  
 (7) 八重山民謡「網張ぬみだがまユンタ」におけるカニの特定 大山了巳 (小禄南小)  
 (8) 尺八くん —尺八譜の手書き入力編集マルチメディアシステム—

長沢理恵, 松島俊明 (東邦大), 坪井邦明 (千葉職業能力開発短大)

- (9) ワークショップ: 沖縄音楽の音組織とリズムをめぐって 金城 厚 (沖縄県立芸大)

11月20日(日)

- (10) バンドライクな音楽アシスタントシステムについて 青野裕司 (阪大), 片寄晴弘 (LIST), 井口征士 (阪大)  
 (11) 伴奏システムのためのリハーサル 堀内靖雄, 奥井 学, 鈴木泰山, 田中穂積 (東工大)  
 (12) 音楽的な記号操作に関する考察 平田圭二 (NTT)  
 (13) ICMC'94 報告 片寄晴弘, 井口征士, 長嶋洋一, 金森 務 (LIST)

\* 東洋音楽学会 (沖縄支部) と共催。

\* 19日(土)の研究会終了後, 懇親会を行います。多数ご参加ください。

照会先: 坪井邦明 (千葉職業能力開発短大) Tel.(043)242-4166(ext.607) e-mail:tsuboi@toho-u.ac.jp

金城 厚 (沖縄県立芸大) Tel.(098)831-5034

## ◆第91回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：10件)

(主査：松山隆司，幹事：井宮 淳，谷口倫一郎，村瀬 洋)

日 時 平成6年11月24日(木) 9:20～17:30

会 場 信州大学 工学部 情報工学科棟第1講義室(1F)

[長野市若里500, JR:長野(善光寺口)下車, 川中島バス(日赤経由松岡行):信州大学工学部前(20分)下車。  
またはJR:長野(東口)下車, 徒歩約25分。Tel.(0262)26-4101 中野]

議 題 - 9:20～11:40 -

- (1) 変調投影光の時空間処理による三次元計測 余田 茂, 佐藤宏介, 千原國宏(奈良先端大)  
 (2) オプティカルフローからの多重運動立体視 -線形アルゴリズムの導出- 志沢雅彦(ATR)  
 (3) パラメトリック当てはめの精度の理論的限界 金谷健一(群馬大)  
 (4) パラメトリック当てはめの最尤推定 金谷健一(群馬大)

- 13:00～17:30 -

- (5) 招待講演:パソコンLANにおけるマルチメディア技術の現状 中村八東(信州大)  
 (6) 移動ロボットによる実環境中での正確な移動と階層的環境モデルの獲得 宮下敬宏, 石黒 浩, 辻 三郎(阪大)  
 (7) 動画像処理システム ISHTAR によるリアルタイム交通流計測 瀬川英吾, 塩原守人, 佐々木繁(富士通)  
 (8) 物体認識における能動的照明プランニング 村瀬 洋(NTT), Shree Nayar(コロンビア大)  
 (9) コンピュータビジョンとパターン認識会議(CVPR94)報告 村瀬 洋, 加藤巖市(NTT)  
 赤松 茂, 大谷 純, 志沢雅彦(ATR), 浅田 稔, 佐藤嘉伸, 顧 海松(阪大), 黄瀬浩一(大阪府立大)  
 川嶋聡夫(北大), 宮島耕治(NTT データ), 杉本かずひで(RWC), 藤原浩次(ミノルタ)  
 (10) CVCV-WG 特別報告:コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望(I)  
 一票と多数決原理に基づく幾何学的対象の検出と識別- 和田俊和(岡山大)

~~~~~

## ◆マルチメディア通信と分散処理研究会

第67回研究発表会を下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。

日 時 平成6年12月2日(金) 9:30～17:20 \*日程が変更されておりますので、ご注意ください。

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

発表件数 13件(予定)

\*\*\* 研究会発表論文募集 \*\*\*

## ◆情報メディア研究会

第19回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

日 時 平成7年1月13日(金) 9:30～17:00

会 場 東京(会場未定)

議 題 特集:人文社会科学と情報メディア

社会制度, 儀礼, 祭祀, 宗教, 習慣などといったものをメディアとしてとらえ, 身体並びにコミュニティに直結したメディアが今後の情報メディアを考えるうえでどのような示唆を与えてくれるかを議論する。

発表申込締切 平成6年11月7日(月)

照会先 平山智史(ソニー IPC 開発部) Tel.(03)3458-5605 Fax.(03)3458-5611 e-mail:hirayama@ipc.sony.co.jp

## ◆コンピュータビジョン研究会

日 程 平成7年1月19日(木)

会 場 龍谷大学

発表申込締切 平成6年10月25日(火)

発表申込 村瀬 洋(NTT 基礎研究所) Tel.(0462)40-3579 Fax.(0462)40-4714 e-mail:murase@apollo3.ntt.jp

/照会先 できるだけ電子メールでの申込みをお願いします。電子メールを受けましたら返信しますので、もし返信のない場合には連絡ください。

## ◆計算機アーキテクチャ研究会

## ◆設計自動化研究会

上記2研究会の合同研究会を開催いたします。多数の発表申込をお待ちしています。

日 時 平成7年1月19日(木) 9:00～17:00, 20日(金) 9:00～17:00

会 場 富士通 川崎工場

**議 題 特集：アーキテクチャ設計支援、および一般**

発表申込締切 平成6年11月4日(金)

発表申込方法 研究発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要(50字程度)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel., Fax., e-mail)をご記入のうえ、下記宛、電子メールまたはFax.で直接お申し込みください。なお、できるだけ電子メールでお願いいたします。

照会先 木村康則(富士通研) Tel.(044)754-2665(直通) Fax.(044)754-2664 e-mail:ykimura@flab.fujitsu.co.jp

\*電子情報通信学会(VLSI設計技術研究会)と共催。

◆自然言語処理研究会

日 程 平成7年1月20日(金) \*発表件数が多い場合には、19日(木)との2日開催にします。

会 場 NHK放送技術研究所(東京都世田谷区砧)

発表申込締切 平成6年11月7日(月)

発表申込/照会先 丹羽芳樹(日立・基礎研究所) e-mail:niwa2@harl.hitachi.co.jp

Tel.(0492)96-6111(ext.241) Fax.(0492)96-6006

◆人文科学とコンピュータ研究会

第25回研究会を下記のとおり開催いたします。多くの方の発表申込みをお待ちしています。

日 程 平成7年1月27日(金)

会 場 北海道開拓記念館(札幌市近郊)

議 題 一般

発表申込締切 平成6年11月5日(土) \*事務局研究会担当までご送付ください。

◆音楽情報科学研究会

日 程 平成7年2月24日(金)午後

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦) \*会場が当初予定から変更されておりますのでご注意ください。

発表申込締切 平成6年12月1日(木)

発表申込/照会先 小坂直敏(NTT基礎研究所) Tel.(0462)40-3577 Fax.(0462)40-4721 e-mail:osaka@av-sun2.ntt.jp

~~~~~

◆第17回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会 (発表件数：2件)  
(主査：山田尚勇，幹事：牛島和夫，空閑茂起，福島敏高)

日 時 平成6年11月9日(水)13：30～17：00

会 場 機械振興会館B3F 研修2号室(所在地は前記参照)

議 題 SGMLの理論について、佐藤和也氏(富士総設)、奥井康弘氏(日本ユニテック)の発表を予定しております。

参加費 研究グループ未登録者：2,000円(研究グループ年間登録：4,000円)

照会先 福島，杉田，谷本(富士通) Tel.(044)754-2660 Fax.(044)754-2662

◆第4回 分散システム運用技術研究グループ研究会

(主査：石田晴久，幹事：岩原正吉，箱崎勝也，林 英輔)

日 時 平成6年11月16日(水)13：30～17：00

会 場 名古屋大学大型計算機センター 4F 演習室

[名古屋市千種区不老町，地下鉄(東山線)：本山下車，徒歩15分。Tel.(052)789-4361]

発表申込締切 平成6年10月25日(火)

発表申込/照会先 長谷川明生(名古屋大学大型計算機センター 研究開発部)

Tel.(052)789-4361 Fax.(052)789-4384 e-mail:a49915a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

◆第8回 ドメイン分析/モデリング研究グループ研究会 (発表件数：3件)  
(主査：伊藤 潔，幹事：伊藤光恭，杵嶋修三，佐伯元司)

日 時 平成6年11月24日(木)13：00～17：00

会 場 鉄道総合技術研究所AV会議室

[国分寺市光町2-8-38，JR：国立(北口)下車，徒歩5分。Tel.(0425)73-7212]

議 題 ・通信ボード組み込みソフトの構造解析(端山 毅(NTTデ-タ))，・鉄鋼制御ドメインと制御ソフト開発支援(丸山昭男(東芝))，・プログラム理解とその支援ツールにおけるモデリング(秋山義博(金沢工大))



## 「短期高等教育における情報処理教育の実態に関する調査研究報告書」 頒布のお知らせ

本学会では、平成5年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、短大並びに高専における情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

- |   |   |
|---|---|
| <b>目次概要</b> I 高等専門学校における情報処理教育<br>2.高専における情報処理教育の概要<br>3.アンケート調査による高専情報処理教育の現状分析<br>4.高専における情報処理教育の展望<br>5.高専情報処理教育研究委員会の活動 | II 短期大学における情報処理教育<br>6.短大の情報処理教育<br>7.現状と問題<br>8.情報応用系学科における情報処理教育の実態<br>9.展望 |
|---|---|

本報告書を下記によりお分けいたします。

申込書（1人1枚使用のこと）を郵便，またはFaxにて申込先あてお送りください。

頒布価格 2,000円（送料，消費税込）  
 申込先／（社）情報処理学会 研究会係  
 照会先 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F  
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

### 申 込 書

短期高等教育における情報処理教育の実態に関する調査研究報告書（短期）

申込者氏名 _____ 連絡先所属 _____ 送本先 〒 _____ 住 所 _____ 所 属 _____	会員番号 _____ Tel. _____ 希望部数 _____ 部 請求書 _____ 通 見積書 _____ 通 納品書 _____ 通 請求宛名 _____
---	---

送金方法（該当欄にV印願います） 名義人（社）情報処理学会  
 現金書留  郵便振替（東京 00150-4-83484）  持参  
 銀行振込（いずれも普通預金口座）  
 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

送金人氏名 \_\_\_\_\_  
 送金に関する問合せ先／担当者 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

## 情報処理学会第 50 回全国大会実施要領

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

講演申込書締切日の厳守を徹底しますので、申込書等の提出は必ず期日までにお出してください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

期 日 平成7年3月15日(水)～17日(金)  
場 所 青山学院大学(東京都渋谷区渋谷4-4-25)  
日程一覧

### 1. 講演申込書の送付

学会誌本号(Vol.35, No.10)掲載の講演申込書に記入して、応募規程Ⅳの申込方法により平成6年11月21日(月)(必着)までにお送りください。なお、11月21日に持参する方は芝浦前川ビル7F情報処理学会第一会議室にて受け付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

なお、プログラム編成が終わり講演番号が決定しますと、発表セッション等の変更はできません。論文の該当分野は十分ご確認してお申込みください。

### 2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

### 3. 登録原稿等の送付

12月中旬に事務局から「登録原稿」等をお送りいたします。講演番号も同時に通知いたしますので発表日時をご確認ください。

### 4. 講演論文等の提出

講演論文原稿(2頁)及び登録原稿等を一括して1月23日(月)(必着)までにご提出ください。

### 5. 大会プログラムを学会誌2月号(Vol.36, No.2)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

## 応募規程

### I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

### II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成6年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

### III. 講演論文該当分野

#### 1. 情報科学一般

##### A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

##### B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

##### C. 教育

- a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他

#### 2. 基礎理論及び基礎技術

##### A. 情報数学及び情報理論

- a. 形式理論, b. オートマトン理論, c. 言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. グラフ理論, 組合せ理論, g. 符号理論, h. その他

##### B. 非線形力学

- a. カオス, b. フラクタル, c. その他

##### C. アルゴリズム理論

- a. 離散アルゴリズム, b. データ構造, c. 並列アルゴリズム, d. 分散アルゴリズム, e. 確率アルゴリズム, f. 近似アルゴリズム, g. 計算幾何学, h. 計算代数学, i. 計算的学

- 習理論, j. 数式処理, k. その他
- D. オペレーションズリサーチ
  - a. 線形, b. 非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. ベトリネット, h. その他
- E. 確率・統計
  - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. 時系列解析, f. その他
- F. 数値計算
  - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形方程式, e. 非線形方程式, f. 固有値問題, g. 数値微分, h. 数値積分, i. 常微分方程式, k. 偏微分方程式, l. 積分方程式, m. 極値問題, n. 特殊関数, o. 乱数, p. その他
- E. 数値シミュレーション
  - a. 有限要素法, b. 差分法, c. 境界要素法, d. モンテカルロ法, e. 粒子シミュレーション, f. 可視化, g. その他
- F. 高性能計算
  - a. 並列化, b. ベクトル化, c. 性能評価, d. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
  - A. 知識処理
    - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 知識ベース, g. 非単調理論, h. ファジィ推論, i. 不確実性処理, j. 学習, k. 理解・識別論, l. その他
  - B. 人工知能システム
    - a. エキスパートシステム, b. エキスパートシステム作成支援ツール, c. ゲームプログラム, d. 知能ロボット, e. その他
  - C. 自然言語処理
    - a. 機械翻訳, b. 形態素解析, c. 構文解析, d. 意味解析, e. 文生成, f. 談話理解, g. 文法, h. 辞書, i. その他
  - D. 音声言語情報
    - a. 音声分析・加工, b. 音声インタフェース, c. 音声認識・理解, d. 音声合成・テキスト音声処理変換, e. 音声対話・翻訳, f. 話し言葉の解析・生成, g. 話者・言語識別, h. 言語モデル・音声言語コーパス, i. 音声応用, j. その他
  - E. パターン認識
    - a. 画像理解, b. 物体認識, c. 文字認識, d. リモートセンシング, e. 図面認識, f. その他
  - F. 生体情報処理
    - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. サイバネティクス, e. ニューラルネットワーク, f. 自己組織化, g. 遺伝的アルゴリズム, h. 人工生命, i. その他
  - G. 感性情報処理
    - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
  - A. 画像・図形処理
    - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
  - B. テキスト処理
    - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. パタン照合アルゴリズム, g. その他
  - C. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
  - A. 基礎理論
    - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム,

- j. プログラム合成・変換, k. その他
  - B. プログラム言語及び仕様記述言語
    - a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
  - C. 言語処理系
    - a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. 並列化コンパイラ, g. その他
  - D. ツール
    - a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. 並列化支援ツール, f. その他
  - E. ウィンドウシステム
  - F. オペレーティングシステム
    - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
  - G. データベース・情報検索
    - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. 演繹データベース, l. オブジェクト指向データベース, m. その他
  - H. プログラミング技術
    - a. データ構造, b. ガーベージコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. ベクトル化, g. 並列化, h. その他
  - I. ヒューマンインタフェース
6. ソフトウェア工学
- A. 開発技術
    - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. ドメイン分析, h. モデリング・プログラム自動構成, i. 仕様検証, j. その他
  - B. テスト・保守・管理
    - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. メトリックス, g. その他
  - C. ソフトウェアプロセス
    - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
  - D. 開発環境
    - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. リポジトリ又はSEDB, e. その他
  - E. ヒューマンファクタ
    - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育, c. プロジェクト管理, d. プログラミング行動, e. その他
  - F. ソフトウェア品質
    - a. 品質保証, b. 品質管理, c. 品質メトリックス, d. 信頼性予測, e. その他
7. ハードウェア
- A. 基礎理論
    - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
  - B. 論理回路
    - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
  - C. デバイス
    - a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
  - D. アーキテクチャ
    - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. 高級言語マシン, d. スーパーコンピュータ, e. ワークステ

- ーション, f. マイクロプロセッサ, g. 非ノイマンアーキテクチャ, h. 並列アーキテクチャ, i. 相互結合網, k. フォールトトレランス, l. リアルタイムシステム, m. DSP, n. ニューロコンピュータ, o. 光コンピュータ, p. その他
- E. 周辺, 端末
  - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 画像入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
- F. 設計技術及び設計自動化
  - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. 論理合成, h. その他
- G. 開発環境
  - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
- H. テスト・検証
  - a. LSIテスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
  - A. 通信技術
    - a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
  - B. ネットワーク管理
    - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他
  - C. コンピュータネットワーク
    - a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他
- 9. システム
  - A. 対話型システム
    - a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他
  - B. グループウェア
    - a. 協調基礎, b. グループワーク応用, c. グループワークインフラストラクチャ, d. 分散オフィス, e. マルチユーザインタフェース, f. 事例研究, g. その他
  - C. オンラインシステム
    - a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他
  - D. 制御システム
    - a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他
  - E. システム評価
    - a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他
- 10. 信頼性と安全性
  - A. 信頼性
    - a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他
  - B. 機密保護
    - a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他
- 11. 応用
  - A. 企業等への応用
    - a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他
  - B. 工学等への応用
    - a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他
  - C. 芸術等への応用
    - a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

IV. 申込方法

1. 本号会告のページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して11月21日(月)(必着)までに申込みこと。
2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申込みこと。  
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記しまとめて送付すること。

VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は9,000円、学生は5,000円です。
2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿(2頁)は、平成7年1月23日(月)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、このデータベースの著作権は学術センターと学会との共有となります。
4. ワードプロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 論文原稿の返却はいたしません。
7. 論文集に掲載された論文等の著作権は、原則として本学会に帰属します。詳しくは学会誌9月号(Vol.35 No.9)41ページを参照。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定します。採択しないものは、例えば次のような場合です。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお勧めします)。

IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を大会当日総受付でお渡しします。

X. 発表論文の別刷はいたしません。

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず総受付の講演者受付で、出席の確認を受け、論文集、プログラムおよび参加章を受け取ってください。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機してください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします(都合により13分間のセッションもあります)。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分間および3分間に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理(読)は認めません。

XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

〒108東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F Tel. (03)5484-3535

## 第50回全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。

1. 1件につき、会員は9,000円、学生は5,000円（講演者には参加章・プログラム・論文集1冊を大会当日総受付でお渡しします。）
2. 講演不採択の場合は、講演参加費は返却しますが、申込後取消の場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座〔三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会口座 No.0003774〕にご送金ください。

なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。

ただし、2件以上の場合には1件増すごとに5,000円か9,000円をご送金ください。

注：ご送金は講演発表者名でお願いします。

6. 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（連名者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成6年11月21日までにお支払いください。

講演参加費	5,000円	件	9,000円	件
講演者氏名	○ ○ ○		○ ○ ○	
合計金額	円			
必要書類： 請求書 通, 納品書 通, 見積書 通				
※必要のない方は空欄のままです。				
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替 (00150-4-83484) ※該当箇所にレ印を付けてください。 <input type="checkbox"/> 銀行振込 _____ 銀行 (専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No.0003774) 送金月日： 月 日 送金人名義：				
通信欄：				
(楷書でハッキリ記入してください)				
講演参加費 取扱者連絡先	〒 _____			
機関・部課名	_____			
フリガナ 氏名	_____ 殿 (会員番号 _____)			
Tel.	_____ (ext. _____)		Fax.	_____

情報処理学会第50回全国大会  
講演申込書

掲載 ページ	
-----------	--

受付 番号	
講演 番号	

第50回全国大会に下記により講演申込をいたします。

注1) 標 題				
フリガナ注1) 著 者 名				
所 属 名				
フリガナ 著 者 名			←注) 講演者を○印で表示してください(氏名の左上)。(該当欄を○印で囲む)	
所 属 名			正会員	学生会員
			他学会員	ビデオ
注2) 論文該当分野	(1)	(2)	(3)	*1 注3)      *2 注3)

- 注1) 学会誌および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。
- 注2) 全国大会実施要領の論文該当分野を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野、開発環境”の場合、6Dと書く)
- 注3) 複数件講演申込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の\*1または\*2に記入してください。

— 論 文 要 旨 (300字程度) —


第50回全国大会講演発表用書類送付宛名 (講演者名をお書きください)

◎登録原稿等の送料として郵便切手190円を添付のこと。

講演番号		(楷書でハッキリ記入してください)
登録原稿等送付先 〒		
機 関 ・ 部 課 名	_____	
フリガナ 講演者氏名	_____	
	殿 (会員番号 _____ )	
Tel. _____	(ext. _____)	Fax. _____



## 情報処理学会「行事」・「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚にて、下記ご記入の上、お申し込みください)

### ○第49回全国大会論文集

コードNo.	
--------	--

(コードNo.は、開催のお知らせに記載してあります)

○参加費 (シンポジウム・講習会・セミナー)  
(該当するものを○で囲み、金額を記入してください)

該当を○	会員・研究会登録会員・非会員・学生
金額	

- ・参加費には資料代が含まれています。
- ・3日前までに連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○懇親会費 \_\_\_\_\_ 円  
○資料のみ (送料込) \_\_\_\_\_ 冊 \_\_\_\_\_ 円  
通信欄

○アンケート (宿泊付の場合の部屋割りの参考にします)

- (1) たばこ: すう すわない  
(2) 年齢: 20代 30代 40代 50代以上  
その他ご要望があればお書きください。

○送金明細

分冊	定価	部数	金額
第1分冊	6,000円		
第2分冊	6,000円		
第3分冊	6,000円		
第4分冊	6,000円		
第5分冊	6,000円		
第6分冊	6,000円		
セット	36,000円		
※送料			
※参加費	会員 2,000円 一般 4,000円		
懇親会			
合計			

※送料は冊数を問わず同一料金。  
北海道・九州 1,400円, 中国・四国 1,300円,  
東北・中部・北陸 1,000円, 関西 1,100円, 関東 900円

支払方法 (該当を○してください)	a) 当日、会場受付にて支払います。 b) 現金書留で _____ 月 _____ 日に送金します。 c) 郵便振替 (00150-4-83484) で _____ 月 _____ 日に送金します。 d) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で _____ 月 _____ 日に送金します。 1. 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 1,2とも名義人 社団法人 情報処理学会 3. 三菱銀行虎ノ門公務部 0003774 (全国大会専用口座) 名義人 社団法人 情報処理学会講習会		
送金人名義			
請求書類	請求書 通	見積書 通	納品書 通
	請求先		

申込先: (社) 情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7階  
 Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: simanuki@ipsj.or.jp  
 e-mailでの申込みの場合は、本申込書の事項をもれなく明記し、お送りください。

—— 通信・送付先 ——

住所 〒 \_\_\_\_\_

機関・部課名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 様 会員番号 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

## 「コンピュータシステム・シンポジウム」 参加者募集

### ーコンティニューアス・メディア、マルチメディアと高速ネットワークングー

分散処理システム、並列マシン、マルチメディア・システム、ギガビットネットワーク・システムなどの新しい計算機システムの普及により、それらを対象としたシステムソフトウェアに新しい技術が求められるようになっていきます。

システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会では、過去5回、標記シンポジウムを開催し、多数の参加を仰ぎ、大きな成果を得てまいりました。本シンポジウムでは、システムソフトウェアおよびOSの研究・開発に携わる人、利用する人が一堂に会して、幅広い議論を行うことを目的に、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。システムソフトウェアに関する最近の研究動向、実用化動向について、研究発表、チュートリアル、パネル討論を行い、これらの分野の今後の進展について展望いたします。これらの分野に関心を持つ研究者、設計開発者、利用者の方々の幅広いご参加をお待ちしております。

日 時 平成6年11月10日(木)～11日(金)  
会 場 工学院大学11階第5会議室  
主 催 情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会  
参 加 費 会員 17,000円 研究会会員 16,000円 非会員 25,000円 学生 5,000円(いずれも論文集を含む)  
論文集のみ 5,000円(送料込み)  
※発表者の方も参加申込みが必要です。  
※申込書は、本会告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は会告目次をご覧ください。

申込締切 平成6年10月15日(土)

申込先/照会先 (社)情報処理学会 シンポジウム係  
〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

### プ ロ グ ラ ム

トピックス 特集：(1) コンティニューアス・メディア、マルチメディア  
(2) 高速ネットワークキング

11月10日(木)

開会の辞 [9:10～9:30] 徳田 英幸(慶大)

招待講演 [9:30～10:30]

・コンティニューアスメディアの研究動向、または、  
マルチ・エージェント・システムの研究動向(予定)

セッション1: OS設計論 [10:40～12:10]

・OS/omicon V4のためのマイクロカーネルの設計 森永智之, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)  
・オブジェクト指向によるOS/omicon 第4版の構築法 加藤泰志, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)  
・オブジェクトの堆積・連結モデル 新城 靖(琉球大)

チュートリアル1 [13:00～14:15]

・分散共有メモリ・システムの研究動向(予定)

セッション2: 実現技術1 [14:30～15:30]

・異なる仮想プロセッサ・モデルに対応できるユーザレベル・スレッドライブラリPPL  
坂本 力(九大), 宮崎輝樹(新日本製鉄), 桑山雅行(九大), 最所圭三, 福田 晃(奈良先端大)

・通信網ワイド分散処理プラットフォーム PLATINA におけるファイルサーバの実装 田中 聡, 丸山勝巳(NTT)

パネル討論 [15:45～17:30]

・情報ハイウェイ時代におけるシステム・ソフトウェアとアプリケーション(予定)

11月11日(金)

チュートリアル2 [9:30~10:45]

・高速ネットワークとコンピュータ・プロトコル

村上健一郎 (NTT)

セッション3: 実現技術2 [11:00~12:30]

・可変なプロセス性能を提供するスケジューリング法

谷口秀夫 (九大)

・走行中プログラムの部分入れ替え法

伊藤健一, 箱守 聡, 横山和俊 (NTTアータ), 谷口秀夫 (九大)

・並行分散コンピューティングのためのスケーラブルプログラミングシステム

藤田 昭平 (東工大)

セッション4: システムソフトウェアの仕様記述 [13:30~15:30]

・リアルタイムシステムの仕様記述と検証に関する研究

山根 智 (島根大)

・オブジェクト指向によるリアルタイムシステムの記述と解析

吉田 聡, 大原茂之 (東海大), 澤田 勉 (エルグ)

・エコノミックコンピュータシステム

青木 武司 (富士通研)

・リアルタイムシステムにおけるオブジェクトチャートのモデルチェック手法

山根 智 (島根大)

セッション5: コンティニューアス・メディア, システムサーバ [15:45~17:15]

・連続メディアのQOS制御のためのOSサポート

河内谷清久仁, 緒方 正暢 (日本IBM), 西尾 信彦, 徳田 英幸 (慶大)

・Conductor/Performerモデルにおける連続メディア処理のためのクラスの実現

西尾信彦, 徳田英幸 (慶大), 河内谷清久仁 (日本IBM)

・次世代アーキテクチャ向けオペレーティングシステムの開発—システムサーバの構成について—

福本 淳, 吉田 英樹, 津田 悦幸, 岡本 利夫 (東芝)

閉会の辞 [17:15~17:30]

清木 康 (筑波大)



## 本会協賛等の行事案内\*

### <国内会議>

第17回理化学研究所科学講演会

平成6年10月26日(水)

東京・ヤクルト本社

音声対話理解シンポジウム'94

平成6年11月24日(木)

KKRホテル東京

1995情報学シンポジウム

平成7年1月12日(木)~13日(金)

東京・日本学会会議講堂

CTRONオープンフォーラム

平成6年11月8日(火)

東京流通センター

AVIRG-IEEE:SMC賢人セミナー「脳の時代」

平成6年10月26日(水)

東京・慶応義塾大学三田キャンパス

第2回人工物工学国内シンポジウム

平成6年11月21日(月)~22日(火)

東京大学山上会館

\*詳細は本号会議案内欄参照

**情報処理学会「連続セミナー '94」**  
**ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための**  
**最新情報テクノロジーの理論と実践**

企業等において、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）が積極的に検討されていますが、この中で先端情報テクノロジーが要素技術として必要不可欠であり、これを取り入れた情報システムが極めて重要な役割を占めています。

本セミナーは、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）の核心である最新情報テクノロジーの理論および実践について、6回のテーマで実施。第4回以降は、以下のテーマで行われます。参加ご希望の方は、本会告に掲載されております行事申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。多数の参加をお待ちしております。

会場 工学院大学 3F 312 教室（東京都新宿区西新宿）

参加費（1回分） 会員 18,000円 非会員 25,000円 学生 2,500円  
 申込書通信欄に第何回のセミナーをご希望かを必ず明記ください。  
 ＊参加費には資料代が含まれています。

資料のみ 5,000円（1回分）  
 申込書通信欄に第何回のセミナー資料をご希望かを必ず明記ください。

[第4回] 1994年11月16日（水） オブジェクト指向開発の実践と課題

オブジェクト指向によるソフトウェア開発（分析、設計、プログラミング）の現状とその問題点、今後の展望を示します。とくに、オブジェクトの抽出、フレームワークの利用、分析/設計方法、オブジェクト指向CASE、開発プロセスとプロジェクト管理、導入教育、開発実績評価などを実践経験に基づき具体的に紹介します。

- ・セッション1：オブジェクト指向開発の現状 [10：00～12：00]  
 オブジェクト指向開発とは 本位田真一（東芝）  
 オブジェクト指向開発の事例 青山幹雄（富士通）
- ・セッション2：オブジェクト指向開発を成功させる秘訣 (13:00-14:50)  
 オブジェクト指向を成功させる開発プロセスとCASE 中谷多哉子（富士ゼロックス情報システム）  
 開発方法論を活用する秘訣 中谷多哉子（富士ゼロックス情報システム）
- ・セッション3（パネル討論）  
 オブジェクト指向開発の実践と課題 [15：00～17：30] コーディネータ：深澤良彰（早大）  
 ビジネスアプリケーションの開発事例 広本 治（CAC）  
 通信ソフトウェアの開発事例 荒野高志（NTT）  
 リアルタイムシステムの開発事例 岸 知二（NEC）  
 GUIの開発事例 井上 健（横河電機）

[第5回] 1995年1月19日（木）

- 新世代データベースシステム技術の展望
- ・オブジェクト指向データベースシステム技術の展望
  - ・マルチメディアデータベースシステム技術の展望
  - ・ダウンサイジングにおけるデータベースシステム技術
  - ・パネルディスカッション  
 コーディネータ：増永良文（情報大）

[第6回] 1995年3月9日（木）

- インターネットの新しい展開
- ・内外のインターネットの現状
  - ・マルチメディアデータベースシステム技術の展望
  - ・インターネットの新しいサービス
  - ・インターネットの新しい技術
  - ・パネルディスカッション  
 コーディネータ：石田晴久（東大）

講演者が決定次第ご案内いたします。

内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

行事 No. S-GW94

## 「グループウェア '94 シンポジウム」参加者募集

標記シンポジウムに、多数の論文をご応募いただきありがとうございます。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

テ ー マ 組織運営と知的創造環境支援  
 Keyword 組織における高次の人間行動支援の総合的環境（技術／組織／行動科学）  
 GW実現と評価、協調行動支援の方法論、その他GW研究／開発／調査／報告  
 日 時 平成6年11月24日（木）10：00～17：30  
 11月25日（金）10：00～17：00  
 会 場 NTT麻布セミナーハウス  
 〒106 東京都港区南麻布4-5-63（地下鉄日比谷線広尾駅下車、三菱銀行角曲がる、徒歩3分）  
 Tel.(03)3440-5454 Fax.(03)3440-5460  
 主 催 情報処理学会 グループウェア研究会  
 参 加 費 グループウェア研究会登録会員 10,000円 会員 15,000円 学生 3,000円 非会員 25,000円  
 （いずれも論文集を含む）論文集のみ 5,000円（送料込）  
 申込方法 本号会告欄の行事申込書を郵送またはFaxで送付のこと。  
 申込締切 平成6年10月31日（月）  
 申込先 （社）情報処理学会 シンポジウム係  
 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F  
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

## プ ロ グ ラ ム

11月24日（木）

座長挨拶 [10：00～10：10] 松下 温（慶大）  
 基調講演「マルチメディアおよびグループウェアと今後の企業・社会」[10：10～11：30] 牧野 昇（三菱総研）  
 特別講演「マルチメディアインフラストラクチャ&サービス」[11：30～12：10] 松下 温（慶大）

－昼 食 [12：10～12：50]－

セッション1 [12：50～14：50] 座長 上野元司（東芝）  
 S1-1 CW(Cooperative Work：協調行動理解)の研究動向 [12：50～13：20] 村瀬一郎（三菱総研）  
 S1-2 グループウェアの定量評価：長期挙動からのアプローチ [13：20～13：50] 山上俊彦（NTT）  
 S1-3 An Exploratory Case Study of Electronic Social Fields in a Japanese Corporation [13：50～14：20] 栗原宏文（東燃）

S1-4 グループワーク対象のジョブデザインにおける設計フレームワーク [14：20～14：50] 柳田純子（富士ゼロックス）、柴田吾一（横浜市大）

－休 憩 [14：50～15：00]－

セッション2 [15：00～17：30] 座長 星 徹（日立）  
 S2-1 分散共通ハイパーメディア VIEW MEDIA における関連オブジェクト管理 [15：00～15：30] 上林弥彦、木 新一（京大）、香川修見（広島電機大）  
 S2-2 対話オブジェクトを格納する分散共有記憶を用いたマルチユーザーインターフェイス [15：30～16：00] 越塚 登（東工大）、坂村 健（東大）  
 S2-3 通信衛星を用いた遠隔教育システム [16：00～16：30] 石母田玄、葛岡英明（筑波大）、鈴木龍太郎、近藤喜美夫（文部省）  
 S2-4 書類回覧業務を対象としたワークフロー管理方式 [16：30～17：00] 伊勢広敏、近藤博文、田代 勤（日立）  
 S2-5 Knowledge Workplace：知的創造環境を支援する情報システムモデルの考案 江谷典子（富士ゼロックス情報システム）

11月25日(金)

セッション3 [10:00~12:00]

S3-1 組織知能とタスクフォースモデル [10:00~10:30]

座長 山上俊彦 (NTT)

中村雅之, 生天目章 (防衛大)

S3-2 EGMB 概念による組織運営と知的創造支援 [10:30~11:00]

沢 恒雄 (名桜大)

S3-3 ビジネスシステムにおけるワークフローモデリングとスケジューリング [11:00~11:30]

稲本 惇 (三菱)

S3-4 ワーキングスタイルやマネジメントスタイルに与えるグループウェアの影響 [11:30~12:00]

太田秀一 (ペンリサーチ)

— 昼 食 [12:00~13:00] —

特別講演「リエンジニアリングと組織変革」 [13:00~14:20]

梅沢 豊 (東大)

— 休 憩 [14:20~14:30] —

パネルディスカッション「知的創造環境の構築にむけて—組織構造とグループウェアのかかわり」 [14:30~17:00]

座長 守屋康正 (富士ゼロックス)

パネラ: 梅沢 豊 (東大), 小島氏 (日本IBM), 萩原氏 (富士ゼロックス), 阪田史郎 (NEC)

西村 孝 (NTT)

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在59名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、紙面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社)情報処理学会編集係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail:ishimaru@ipsj.or.jp

行事 No. S-1S94

## 「第6回利用者指向の情報システムシンポジウム」

### 参加者募集

#### —社会の変化と情報システムの新しいミッション—

情報システムが個人から一般社会にいたるさまざまな組織に広く普及・浸透してきた今日、利用者を指向した情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっています。この課題に取り組むには、組織と情報システム双方における情報の生産・流通・利用過程の絡みを幅広い視点から捉えて、情報システムの設計と構築を論じる必要があります。

とくに、最近、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）などにともない、情報システムに新しい使命を負わせる必要が生じてきています。そこで本シンポジウムでは、このような観点に立って今後の情報システム構築に対する方法論、具体的事例などについて、発表・討論を行う予定です。この問題に関心を持つ利用者、管理者、研究者、設計・開発者、運用者の方々のご参加をお願いいたします。

日時 平成6年12月1日（木）9：30～17：10  
2日（金）9：30～17：20

会場 工学院大学 11 F 第5会議室（東京都新宿区西新宿 1-24-2）  
Tel.(03)3342-1211 JR、小田急、京王帝都、地下鉄各新宿駅下車徒歩 10分

協賛 (社) 日本情報システム・ユーザ協会

参加費 会員 10,000円 研究会会員 6,000円 非会員 15,000円 学生 1,500円  
(いずれも論文集を含む) 論文集のみ 5,000円 (送料込み)

懇親会 発表者やパネリストとの個別討議や参加者どうしの親睦の場です。お気軽にご参加ください。  
会費 3,000円 (参加費と一緒にお申込みください。当日のお申込みも可能です。)

申込締切 平成6年11月18日（金）

申込先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係  
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

\*申込書は、本会告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は、会告目次をご覧ください。

第1日 12月1日（木）

期会の辞 [9：30～9：40]

情報システム研究会主査 山本毅雄（情報大）

基調講演 [9：40～10：30]

司会 山本毅雄（情報大）

「企業経営者からみた情報化への期待と情報化推進の考え方」

高橋 勝（新日鉄情報通信システム）

セッション1 [10：30～12：30]

司会 大橋有弘（明星大）

1-1 [10：30～11：00] 「情報システム学への接近—記号論的観点から—」

中嶋聞多（文教大）、浦 昭二（新潟国際情報大）

1-2 [11：00～11：30] 「情報システムの社会学」

澤田芳郎（愛知教育大）

1-3 [11：30～12：00] 「政策支援のためのPCLANシステム」

大島義一（通産省）

1-4 [12：00～12：30] 「情報通信による在宅重度障害者の社会参加」

伊藤 英一、大橋正洋、玉垣 努、北村 啓（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

—昼 食 [12：30～13：30] —

セッション2 [13：30～15：00]

司会 初瀬川茂（東芝）

2-1 [13：30～14：00] 「データ中心型アプローチ（ADSG/DOA）によるBPRの実際」

丹羽展男（アイ・ビー・エム流通サービス・ソリューション）

2-2 [14：00～14：30] 「エンドユーザー参加によるクライアント・サーバ・システムの短期開発方法論」

沢 和喜、藤井則夫、高橋富夫（富士通）

2-3 [14：30～15：00] 「顧客満足度を視点とする情報システムの評価／監査の研究」

力 利則（NEC）、藤野喜一（電通大）

—休 憩 [15：00～15：10] —

パネル討論 [15:10~17:10]  
「BPRを実践に移すために」

司会 堀内 一 (東京国際大)  
パネリスト: 吉田春樹 (アーンストアンドヤングコンサルティング)  
関 孝 (ジェームスマーチン・アンド・カンパニー・ジャパン)  
程 近智 (アンダーセンコンサルティング)  
志田藤一 (ヒムシステム)

懇親会 [17:30~19:00]

第2日 12月2日(金)

セッション3 [9:30~11:30]

司会 神田 茂 (日本経済新聞社)

3-1 [9:30~10:00] 「リエンジニアリングと情報システムの新しいミッション」

渡辺純一 (都立商科短大)

3-2 [10:00~10:30] 「利用部門主導による情報化の推進」

小沢弘道 (日本研修サービス)

3-3 [10:30~11:00] 「分散系システム推進にあたっての検討事項」

益田美貴 (住友信託銀行)

3-4 [11:00~11:30] 「利用者指向の情報システムの分析と設計」

玉置彰宏 (日興システムセンター)

— 休憩 [11:30~11:40] —

招待講演 [11:40~12:30]

司会 魚住 董 (沼津高専)

「BPRの推進と情報システムのアウトソーシング」

花岡 菖 (関東学院大)

— 昼食 [12:30~13:30] —

セッション4 [13:30~15:00]

司会 魚住 董 (沼津高専)

4-1 [13:30~14:00] 「情報ネットワークの社会的インパクト」

大前義次 (神奈川工科大)

4-2 [14:00~14:30] 「CIOの役割」

米川 清 (熊本学園大)

4-3 [14:30~15:00] 「情報リテラシー: 2つのアプローチ」

早川芳敬 (国際ビジネス研究センター)

— 休憩 [15:00~15:10] —

セッション5 [15:10~17:10]

司会 中嶋閑多 (文教大)

5-1 [15:10~15:40] 「授業改善視点からみたIS教育実施ポイント」

田村幸子 (九州産業大)

5-2 [15:40~16:10] 「EUCの広がりに対応する一般情報処理教育」

山本 誠, 小林 仁 (札幌ソフトウェア専門学校)

5-3 [16:10~16:40] 「システム思考の教育と実践」

大成幹彦 (東理大)

5-4 [16:40~17:10] 「ソフトウェア技術者育成法の一考察」

楠森 昭 (前橋市立工業短大)

閉会 [17:10~17:20]

初瀬川茂 (東芝)



行事 No. S-DBS94-2

## 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'94 及び併設講習会」 参加者募集 ーネットワーク社会とデータベースー

近年、ネットワークの超高速化、広帯域化、高機能化技術が急速に進展し、ネットワーク環境は大きく変化しつつあります。この変化がデータベースシステムに与えるインパクトは非常に大きく、我々はどう対処して行くのか真剣に議論しておく必要があります。実際、この新しいネットワーク環境のもとで大規模分散型データベースや分散型マルチメディア環境が現実的なものとなり、それらのシステムを支えるための大規模データベース設計/管理、分散型オブジェクト管理/運用、実時間性、ダウンサイジング、知的データベースインタフェース等の研究開発が改めて重要な課題となっています。

そこで、本シンポジウムでは、このような視点から来るべきネットワーク社会とデータベースのあり方を求めて、データベースに関係する最新の研究成果/システム開発及び利用状況を特集し、今後の進むべき方向を展望します。

### 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'94 講習会」

日 時 平成6年12月7日(水) 9:30~17:00  
 会 場 工学院大学3階312教室(東京都新宿区西新宿)  
 主 催 情報処理学会 データベースシステム研究会  
 参加費 研究会会員 9,000円 正会員 10,000円 学生会員 2,000円 非会員 15,000円  
 申込締切 平成6年11月18日(金)

#### プログラム

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1) ネットワークOSの技術動向                     | 小山 実(ノベル)   |
| 2) 分散オブジェクトの実装ーCORBA 準拠のSOM/DSOM 概説ー | 安藤 晃(日本IBM) |
| 3) オブジェクト指向COBOLの標準化動向               | 西尾高典(日立)    |
| 4) SQL3の概要と標準化動向                     | 芝野耕司(東京国際大) |

### 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'94 本会議」

日 時 平成6年12月8日(木)、9日(金) 9:30~17:00  
 会 場 工学院大学3階312教室(東京都新宿区西新宿)  
 主 催 情報処理学会 データベースシステム研究会  
 参加費 研究会会員 13,500円 正会員 15,000円 学生会員 3,000円 非会員 20,000円  
 申込締切 平成6年11月18日(金)

#### プログラム

- <基調講演>  
 トブジェクト指向・マルチメディア・オープンデータベースシステムの研究課題 増永良文(情報大)
- <招待講演>
- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1) ネットワーク社会とデータベース研究への期待  | 松下 温(慶大)        |
| 2) 米国の情報スーパーハイウェイ構想と日本の対応 | 横山光雄(郵政省)       |
| 3) インターネットの現状と将来          | 中村 修(慶大)        |
| 4) ビデオサーバとビデオオンデマンド       | アレンマイナー(日本オラクル) |
| 5) オープン時代のシステム構築技術        | 川妻庸男(富士通)       |
- その他、一般投稿論文発表(多数)を予定しています。詳細は、来月号の会告でお知らせします。

#### 参加費の割引について

講習会と本会議の両方に参加される場合は、割引料金となります。また、データベースシステム研究会の会員は、正会員の参加費の一割引きになります。具体的には、以下の通りです。

#### 参加費

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1) 本会議及び併設講習会に参加 | 研究会会員 18,000円 正会員 20,000円 学生会員 4,000円 非会員 28,000円 |
| 2) 本会議のみ参加       | 研究会会員 13,500円 正会員 15,000円 学生会員 3,000円 非会員 20,000円 |
| 3) 併設講習会のみ参加     | 研究会会員 9,000円 正会員 10,000円 学生会員 2,000円 非会員 15,000円  |

参加費には、論文集代(本会議)、資料代(併設講習会)が含まれています。

本会議論文集のみ(6,000円、送料込)

併設講習会資料のみ(3,000円、送料込)

## 「情報ネットワーク (IEEE ICOIN) ワークショップ」 参加者募集

ネットワークの高速化により、マルチメディア通信を用いた種々の分散システムが、開発され、利用されてきております。本ワークショップは、こうした高速ネットワークを中心とした分散システム技術について、基礎から応用まで幅広く議論を行うことを目的としております。なお本ワークショップ(9th International Conf. on Information Networking(ICOIN-9))は、従来当研究会が中心となり実施してまいりました JWCC(Joint Workshop on Computer Communications)を拡大した会議であり、アジア各国からの研究者も多数参加する予定であります。これらの分野に関心をもたれている研究者、利用者の方々の幅広い参加をお待ちしております。

- 日 時** 平成 6 年 12 月 12 日 (月) ~ 12 月 14 日 (水)
- 会 場** 千里ライフサイエンスセンター (大阪府豊中市新千里東町 1-4-2 Tel.(06)873-2010)  
地下鉄千里中央駅前北出口スグ (御堂筋線→北大阪急行線)
- 主 催** 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会
- 共 催** IEEE Computer Society
- 参 加 費** 正会員 30,000 円 研究会登録会員 25,000 円  
非会員 40,000 円 学 生 5,000 円 (いずれも論文集を含む)  
論文集のみ 5,000 円 (送料込)
- ※本参加費には、宿泊費は含まれません。宿泊については、各自で手配をお願いいたします。
- ※参加申込み後、止むを得ず参加を取り消される場合、12月2日(金)までにお願ひします。取り消しの連絡がない場合、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。
- ※申込書は、本会告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は会告目次をご覧ください。
- 申込締切** 平成 6 年 11 月 25 日 (金)  
(定員 130 名になり次第締め切らせていただきます。論文集のみの方は、印刷部数に限りがありますので、お早めにお申込みください)
- 申 込 先** (社)情報処理学会 ワークショップ係  
〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534
- プログラム** 11 月号に掲載予定
- 照 会 先** 東京電機大学理工学部経営工学科 滝沢 誠  
〒 350 埼玉県比企郡鳩山町石坂  
Tel.(0492)96-2911(ext. 2507) Fax.(0492)96-6185  
e-mail:taki@takilab.k.dendai.ac.jp

# 第1回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 (APSEC'94) 開催について The First Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC'94)

期 1994年12月7日(水)～9日(金)

所 早稲田大学国際会議場 (〒169-50 東京都新宿区西早稲田1-6-1)

催 情報処理学会ソフトウェア工学研究会

賛 The Technical Board for Computer Systems and Software Engineering of the Australian Computer Society, The Chinese Institute of Electrical Engineers, The Special Interest Group on Software Engineering of the Korea Information Science Society (KISS/SIGSE), IEEE Computer Chapter Singapore Section, IEEE Tokyo Section Computer Chapter, 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会, 電子情報通信学会知能ソフトウェア工学研究会, 日本ソフトウェア科学会ソフトウェアプロセス研究会, ソフトウェア技術者協会

旨 ソフトウェア工学に関する国際会議は、従来から種々開催されてきておりますが、そのほとんどが欧米を中心とするものでした。本国際会議 APSEC'94 は主としてアジア太平洋地域の国々を中心としたソフトウェア工学に関する国際会議として開催するものです。プログラムを次ページに示します。

加申し込み 参加希望者は下記の registration form の要領でお申し込み下さい。

## First Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC'94) Registration Form December 7-9, 1994, Tokyo, Japan

lease mail or fax to: Akira Kagaya (Registration Chair, APSEC '94)  
Systems and Software Engineering Laboratory  
Toshiba Corporation  
70 Yanagi-cho, Saiwai-ku, Kawasaki 210, Japan  
Phone: +81-44-548-5633  
Fax: +81-44-522-5198 (Until Oct.23), +81-44-520-5855 (After Oct.23)

emittance should be a bank transfer Account Name: APSEC 94  
: a bank check. Account No. 588-6383376  
Account Type: Deposit Account  
Sakura Bank, Yokohama Branch

ase Type or Print:  
t/Family Name: \_\_\_\_\_ First Name: \_\_\_\_\_  
iliation (for name tag): \_\_\_\_\_  
dress: \_\_\_\_\_  
y/State/Zip/Country: \_\_\_\_\_  
one: \_\_\_\_\_ Fax: \_\_\_\_\_  
nail: \_\_\_\_\_  
J or Cooperating Society Membership Number: \_\_\_\_\_

ase mark the box and fill in the \_\_\_\_\_ if necessary.

Registration Fees	Advance(by Nov. 10)	Late(after Nov. 10)
Member of SIGSE	<input type="checkbox"/> ¥20,000	<input type="checkbox"/> ¥25,000
Member of IPSJ or Cooperating Societies	<input type="checkbox"/> ¥25,000	<input type="checkbox"/> ¥30,000
Non-Member	<input type="checkbox"/> ¥30,000	<input type="checkbox"/> ¥35,000
Student	<input type="checkbox"/> ¥5,000	<input type="checkbox"/> ¥6,000

nittance:  Bank Transfer  Bank Check

you need a bill and/or others for remittance from you ?  I need a bill.  I need \_\_\_\_\_.

gistration fees include conference attendance, refreshment breaks, conference receptions and one copy of the conference proceedings. Request for cancellation must be received through mail or fax by the registration chair no later than member 21. A handling charge will be deducted from the registration fee.

**APSEC'94 Advance Program**

Wednesday December 7, 1994

- 9:30 - 10:00 **Welcome and Opening Remarks**  
 10:00 - 11:30 **Keynote Address**  
 Koji Torii (Nara Institute of Science & Technology and Osaka University)
- 11:30 - 13:00 **Lunch (Not Provided)**
- 13:00 - 17:00 **Special Session**  
*Software Engineering in Asia and Pacific — Looking Back and Looking Forward*  
 Six or seven 30 minutes' presentations from each country of Asia and Pacific.  
 Each speaker talks retrospective and perspective of software engineering in his/her country.  
 Speakers : Kad Reed (Australia), Danny Poo (Singapore), Yue-Sun Kuo (Taiwan), TBD

Thursday December 8, 1994

- 9:30 - 10:40 **Invited Talk**  
*Requirements Engineering: A Review And Research Agenda*  
 Anthony Finkelstein (City University, UK)
- 10:40 - 11:00 **Break**
- 11:00 - 12:00 **Parallel Session 1A : Applied Methods**  
*Applying Object-Oriented Construction to Fault Tolerant Systems*  
 James Miller, Murray Wood, Andrew Brooks, Marc Roper  
 (University of Strathclyde, Scotland)
- An Adaptive User Navigation Mechanism and its Evaluation*  
 Jeongwon Baeg, Atsushi Hirahara, Yoshiaki Fukuzawa (Waseda University, Japan)
- Parallel Session 1B : Development Environment**  
*Developing Distributed Applications by Semantics-based Automatic Replication*  
 Sunin Huang, Klaus-Peter Lohr (Freie Universitat Berlin, Germany)
- A TAGM Model Based Software Generator System*  
 Mikifumi Shikida, Yasuhide Yamamoto, Yoshimasa Kimura, Takehiro Tokuda  
 (Tokyo Institute of Technology, Japan)
- Parallel Session 1C : Re-Engineering & Maintenance**  
*Proprietary vs "Open Systems" Options in the Construction of Knowledge-Based Software Re-Engineering Environments*  
 Paul Bailes, Steven Atkinson, Murray Chapman, Dan Johnston, Ian Peake  
 (University of Queensland, Australia)
- A Software Maintenance Survey*  
 Stephen Yip (Hong Kong Polytechnic),  
 Thomas Lam (Provisional Airport Authority, Hong Kong)  
 Stephen Chan (Hong Kong Polytechnic)
- 12:00 - 13:30 **Lunch (Not Provided)**
- 13:30 - 15:00 **Parallel Session 2A : Software Process I**  
*Guiding the Requirements Engineering Process*  
 Colette Rolland (Universite de Paris Sorbonne, France)  
 Navveen Prakash (Delhi Institute of Technology, India)
- Constraint-Centered Descriptions for Automated Tool Innovation*  
 Kazuto Tomimaga, Takehiro Tokuda (Tokyo Institute of Technology, Japan)
- Software Documents, Their Relationships and Properties*  
 Jun Han (Monash University, Australia)

- Parallel Session 2B : Domain Modelling**  
*Supporting User-Analyst Interaction in Functional Requirements Elicitation*  
 Alessandro Cucchiarelli, Maurizio Panti, Salvatore Valenti (University of Ancona, Italy)
- A Model-Based MICOM Application Software Development Method*  
 Kyo-Chul Kang, Sey-Chan Jang (Pohang Institute of Science & Technology, Korea)
- Object and Domain Polytets Specification*  
 Danny C.C. Poo, Shwu-Yi Lee (National University of Singapore, Singapore)

- Parallel Session 2C : Testing and Debugging I**  
*A Knowledge-Based Approach to Regression Testing*  
 Taewoong Jeon (Goldstar Industrial Systems, Korea),  
 Anneliese von Mayrhauser (Colorado State University, USA)
- Integrating Data Flow and Domain Testing*  
 Bingchiang Jeng (National Sun Yat-Sen University, Taiwan)
- Automated Class Testing; Methods and Experience*  
 Daniel Hoffman (University of Victoria, Canada),  
 Jonathan Smille, Paul Strooper (University of Queensland, Australia)

- 15:00 - 15:30 **Break**
- 15:30 - 17:00 **Parallel Session 3A : Software Process II**  
*Form the Software Process to Software Quality, BOOTSTRAP and ISO 9000*  
 Hans-Jürgen Kugler (European Software Institute, Spain),  
 Richard Messnarz (Technical University Graz, Ireland)
- BOOTSTRAP: A Software Process Assessment and Improvement Methodology**  
 Jouni Simila, Pasi Kuvaja, Lech Krzaunk (University of Oulu, Finland)
- Software Process Representation to Support Multiple Views of the Enacted Process*  
 David Jacobs, Chris Marlin (Flinders University, Australia)
- Parallel Session 3B : Applying Specifications**  
*Dynamic Evolution of Distributed Systems Specifications using Reflective Language*  
 Issam A. Hamid (Tohoku University of Art & Design, Japan)
- A Mapping System From Object-2 to C++*  
 Masakazu Fukagawa, Tetsuo Hikiita, Hiroshi Yamazaki (Meiji University, Japan)
- Reversing Concurrent Systems Into Formal Specifications*

- Karl R.P.H. Leung, Clement F.S. Yim (Hong Kong Polytechnic)
- Parallel Session 3C : Testing and Debugging II**  
*Ordered Sequence Testing Criteria for Concurrent Programs and the Supporting Tool*  
 Eisuke Itoh, Yutaka Kawaguchi, Zengo Furukawa, Kazuo Ushijima  
 (Kyushu University, Japan)
- Reachability Testing: An Approach to Testing Concurrent Software*  
 Gwan-Hwan Hwang (National Tsing-Hua University, Taiwan),  
 Kuo-Chung Tai (North Carolina State University, USA),  
 Tin-Lu Huang (National Chiao-Tung University, Taiwan)
- Fail-in-C : A Software Tool for Pitfall Detection in C Programs*  
 Tetsuro Kakeshita (Saga University, Japan),  
 Mariko Oda (Kurume Institute of Technology, Japan),  
 Yoshihiro Imamura (Sumikin System Development, Japan)

- 9:30 - 11:30 **Friday December 9, 1994**
- Parallel Session 4A : Process Modelling**  
*Producing and Managing Software Objects in the Process Programming Environment OPM*  
 Yasuhiro Sugiyama (Nihon University, Japan)  
 Woo Jim Lee (KAIST, Korea), In Saang Chung (Hallym University, Korea),  
 Yong Rae Kwon (KAIST, Korea)  
*The Cogito Repository Manager*  
 Owen Traynor (University of Queensland, Australia)  
*Process-Sensitive Software Engineering Environments: An Object-Oriented View*  
 Min Kang, Doug Grant (Swinburne University of Technology, Australia)
- Parallel Session 4B : CASE**  
*Generating Data Access Programs from PCTE Schemas with Constraints*  
 Atsushi Sawada, Naruki Mitsuda, Tsuneo Ajijsaka, Yoshihiro Matsumoto (Kyoto University, Japan)  
*An Analysis of the Effects and Evaluation of Upper CASE Tools for Embedded Microprocessors in Japan and the US*  
 Naomi Fujimura (Kyushu Institute of Design, Japan)  
 John Potter (Microsoft Institute, Australia)  
 Mark Sifer (University of Technology, Sydney, Australia),  
 John Potter (Microsoft Institute, Australia)
- Parallel Session 4C : Formal Methods**  
*PARTS: A Temporal Logic-Based Real-Time Software Requirements Analysis Method Supporting Multiple Viewpoints*  
 Kwang-Il Ko, Kyo-Chul Kang (Pohang Institute of Science & Technology, Korea)  
*Formal Definitions of Behavioural Compatibility for Active and Passive Objects*  
 Greene Smith (University of Queensland, Australia)  
*The Cogito Methodology and System*  
 Anthony Bloesch, Ed Kazmierczak, Peter Kearney, Owen Traynor (University of Queensland, Australia)
- 11:30 - 13:00 **Lunch (Not Provided)**
- 13:00 - 14:30 **Parallel Session 5A : Object-Oriented Analysis and Design**  
*A Sentential Function mapping Method for Object-Oriented Analysis and Design*  
 HyeonKon Kim, Michael Bjorn, Hui Yao, Ryosuke Hotaka (University of Tsukuba, Japan)  
*When to Inherit and When Not to*  
 Yue-Sun Kuo (Academia Sinica, Taiwan)  
*Object-Oriented Analysis and Design Support System using Algebraic Specification Techniques*  
 Junichi Yamamoto, Akihiko Ohsuga, Shimichi Honiden (Toshiba, Japan)
- Parallel Session 5B : Software Information Management**  
*A Hybrid Program Knowledge Base System for Static Program Analyzers*  
 Stan Jarzabek, Han Shen, Hock Chuan Chan (National University of Singapore)  
*The GOODSTEP Project: General Object-Oriented Database for Software Engineering Processes*  
 The Goodstep Team  
*Software Information Management System based on the Entity-Relation Model*  
 Moon Hae Kim (Konkuk University, Korea), Young-Chul Shim (Hongik University, Korea)
- Parallel Session 5C : Quality Assurance and Reliability**  
*Prescriptive Metrics for Software Quality Assurance*
- Chin-Feng Fan (Yuan-Ze Institute of Technology, Taiwan)  
 Swu Yih (Institute of Nuclear Energy Research, Taiwan)  
*An Approach to Predict Software Maintenance Cost Based on Ripple Complexity*  
 Toyohiko Hirota, Masaharu Tobki, C. Michael Overstreet,  
 Masaaki Hashimoto, Robert Cherinka (Kyushu Institute of Technology, Japan)  
*Optimal Release Policies for Hyper-Geometric Distribution Software Reliability Growth Model with Scheduled Delivery Time*  
 Rong-Huei Hou, Sy-Yen Kuo (National Taiwan University),  
 Yi-Ping Chang (National Central University, Taiwan)
- 14:30 - 15:00 **Break**  
 15:00 - 17:00 **Panel Session**  
*To What Degree is Reverse Engineering Possible? - Expectations and Reality -*  
 Coordinator : Haruki Ueno (Tokyo Denki University)  
 Panelists :  
 Paul Bailes (University of Queensland, Australia)  
 Sanya Uehara (Fujitsu, Japan)  
 TBD
- \*17:00 - 17:15 **Closing Remarks**

# 第25回画像工学コンファレンス

## —Japan Imaging Technology '94—

### —第25回記念大会—

画像工学コンファレンスは1970年に第1回が開催されてから今回で25回を迎えることになりました。その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像工学の研究開発の発展に大いに寄与してまいりました。本年は四半世紀の歴史を踏まえ、新たな出発を目指して第25回画像工学コンファレンス—第25回記念大会—を開催することにいたしました。今回は例年の口頭発表、ポスタ講演に加え、第25回を記念としてつぎのような記念講演と海外招待講演・特別セッションをおこないます。

- (1) 第25回記念講演
  - ロボット・ビジョン25年の軌跡 辻 三郎教授 (大阪大学基礎工学部システム工学科)
  - 医用画像処理25年の軌跡 鳥脇純一郎教授 (名古屋大学工学部情報工学科)
- (2) 招待講演
  - Retrieving Shape and Orientation in 3D-Volume Data from Second Derivatives  
Prof. Per-Erik Danielsson  
(Dept. of Electr. Eng., Linköping University, Sweden)
- (3) 特別セッション【4次元画像処理】
  - 多次元画像空間の記述と符号化 原島 博教授 (東京大学工学部電子工学科)
  - 立体テレビ研究の現状と展望 磯野春雄副部長 (NHK放送技術研究所ヒューマンサイエンス研究部)
  - ホログラフィ技術による立体画像表示—現状と将来—  
本田 捷夫教授 (千葉大学工学部画像工学科)
  - Electron Beam Tomography (EBT) による3次元CT血管造影の臨床的意義  
高宮 誠部長 (国立循環器病センター放射線診療部)
- (4) 応募による一般講演 (口頭発表、討論が十分にできるポスタ講演)

さらに、'94 国際画像機器展 (入場無料) を併催いたします。関連分野の方々の積極的なご参加を期待いたします。

期 日：1994年12月7日 (水) 10:20~18:10  
 8日 (木) 10:00~18:30  
 9日 (金) 10:00~19:30

会 場：ABC会館ホール (地下鉄三田線芝公園駅、日比谷側)  
 東京都港区芝公園2-6-3 ☎03 (3436) 5771

参加費：加盟学会員 12,000円  
 学 生 6,000円 論文集代を含む  
 非 会 員 15,000円

申込・送金方法：

- (1) 申込期限 1994年11月28日 (月)  
(以後は資料等の残部まで受け)
- (2) 申 込 先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 連企画気付  
第25回画像工学コンファレンス事務局  
☎03 (3433) 2543 FAX 03 (3433) 3904
- (3) 銀行振込の場合 申込書に必要事項をご記入の上、お送りください (FAX可)。  
お振込みのときは、振込人名 (会社名等) の前に登録番号 (参加受付番号) を必ずご記入ください。  
三菱銀行・浜松町支店 (018)・普通預金・0135837 口座名「画像工学コンファレンス」
- (4) 郵便振替の場合 振替用紙の通信欄に、申込書と同じ事項をご記入ください (個人名は必ずお書きください)。  
(振替用紙を申込書として扱いますので別紙申込書は二重登録になるので送らないでください)

論文集：当日会場でお渡しいたします。欠席者には終了後郵送。論文集のみご希望の方には12,000円で終了後郵送いたします。

主 催：第25回画像工学コンファレンス実行委員会

(担当 情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会)

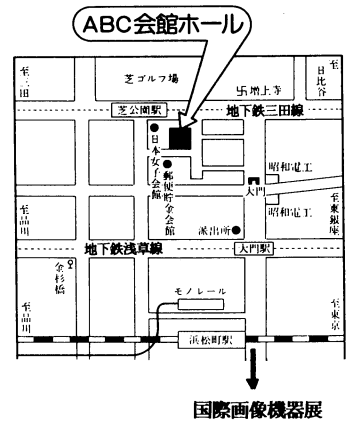
加盟学会・委員会：応用物理学会日本光学会、テレビジョン学会・情報ディスプレイ研究委員会・視覚技術研究委員会・画像通信システム研究委員会・画像処理コンピュータビジョン研究委員会・画像応用研究委員会・電気学会・電子デバイス技術委員会・光子デバイス技術委員会、電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部、三次元映像のフォーラム、ホログラフィックディスプレイ研究会。

94国際画像機器展 (入場無料)

期 日 1994年12月7日~9日 会 場 東京産業貿易会館 (港区・竹芝)

主催 日本画像・計測機器協議会 (☎03-3367-0571)

\*コンファレンス会場と展示会場との間は、無料シャトルバスが走ります。



## 第25回画像工学コンファレンス プログラム — 記念大会 —

第1日 12月7日(水) 10:20~18:10

開会の辞(10:20~10:30)

松山隆司実行委員長(岡山大、情報処理学会)

1. CV・認識・理解(10:30~12:30) 座長 井宮 淳(千葉大)
- 1-1 連続断面画像からの輪郭線抽出システムの開発 Roman Durikovic・金田和文・山下英生(広島大)
- 1-2 画像合成のための高速で簡易なカメラキャリブレーション 出口光一郎・多田羅哲夫(東大)
- 1-3 階層的Rough変換を用いた3次元物体検出 藤原信也・中澤和夫・中島真人(慶大)
- 1-4 顔画像からの表情自動認識 小野仁志・趙 昌錫・南谷晴之(慶大)
- 1-5 顔のスケッチ画像抽出とFACSによる表情変換 李 元中・小畑秀文(農工大)
- 1-6 一般化された勾配法による周期変動速度ベクトル場の計測—心臓シネMRI動画像の解析例— 三池秀敏(山口大) 野村厚志(山口女子大) 紀ノ定保臣(三重大)

2. ポスタセッション(1)(13:00~14:30)(ホワイエにて)

- 2-1 変形モデルを利用した動画像中の移動物体の解析 西塚弘美・鶴岡建夫・小坂明夫・山田秀俊(オリンパス光学)
- 2-2 高速・連続距離画像に基づく実在人物像の動画 藤田克史・片山直美・清水 優・荒木和男(中京大)
- 2-3 サブピクセル精度のエッジ検出結果からの楕円パラメータ推定 小坂田秀之・村上 勝・城 洋一(大阪府立大)
- 2-4 一般化モザイクを特徴量としたナンバープレート文字識別 小嶋 仁・八木 誠・坂理健一・黒崎 久(日本信号)
- 2-5 文字配列規則をもちいたナンバープレートの抽出と距離特徴をもちいた文字切り出し 八木 誠・坂理健一・小嶋 仁・黒崎 久(日本信号)
- 2-6 探索平面での動的輪郭モデルを用いたステレオマッチング 阿部恭一・横矢直和(奈良先端大)
- 2-7 概念空間に基づく画像の曖昧検索 近藤 隆・山口雅浩・大山永昭(東工大)
- 2-8 ある個人の特徴を有する手書き文字の再生 田尻文威・亀丸俊一(茨城大)

3. 画像処理(1)(14:40~16:20)

座長 村瀬 洋(NTT)

- 3-1 遺伝的アルゴリズムを用いた濃淡文字画像の細線化法 青木芳和・塩山忠義(京都工繊大)
- 3-2 画面の可変分割機能を持つ高速画像処理システムの開発と魚種識別への応用 黒川不二雄・榎本常利・浅野睦喜・松尾博文(長崎大)
- 3-3 テクスチャ解析による魚体の色特徴抽出について 指方 顕(長崎県工技センタ)
- 3-4 ウェーブレット変換を用いた劣化画像の復元法 黒川不二雄・榎本常利・周 景嶺・松尾博文(長崎大)
- 3-5 Dempster-Shafer の確率モデルに基づく多時期画像の土地被覆分類 橋本正一・斎藤英雄(慶大)
- 細村 宰(金沢工大)

優秀ポスタ賞表彰(16:20~16:30)

4. 画像処理(2)(16:30~18:10)

座長 谷口倫一郎(九大)

- 4-1 ラベルテーブルの不要な高速ラベル付け演算 那須靖弘・榎井 猛(甲子園大) 志水英二(大阪市立大)
- 4-2 擬似濃淡画像の特徴を用いた擬似濃淡画像の圧縮方式 榎井 猛・那須靖弘(甲子園大) 志水英二(大阪市立大)
- 4-3 多値誤差拡散法を用いたハードコピーの画質改善手法の検討 宮田公佳・斎藤雅行・大西 勝(三菱電機)
- 4-4 画像処理技術を用いた自動印字システムの開発 黒川不二雄・松尾博文(長崎大) 中村雅孝(三菱重工)
- 4-5 OCTREE表現を用いたモンテカルロシミュレーションの高速化 前田 繁・尾川浩一(法政大)

第2日 12月8日(木) 10:00~18:30

5. 第25回記念講演(10:00~12:00)

座長 松山隆司(岡山大)

- 5-1 ロボット・ビジョン25年の軌跡 辻 三郎(大阪大学基礎工学部システム工学科教授)
- 5-2 医用画像処理25年の軌跡 鳥脇純一郎(名古屋大学工学部情報工学科教授)

6. ポスタセッション(2) (13:00~14:30) (ホワイエにて)

- 6-1 ビデオ画像の画質改善  
黒木健郎・斉藤直樹・小沼弘義 (科学警察研)
- 6-2 階調数を限定した画像のブラインド・デコンボリューション  
田丸雅也・野村孝徳・平野浩太郎 (神戸大)
- 6-3 ドライバの顔画像からのまばたき計測  
杉山和彦・中野倫明・山本 新 (豊田中研)
- 6-4 異なるデジタル画像表示デバイス間のシャープネスマッチング  
大竹律子・羽石秀昭・三宅洋一 (千葉大) 洪 博哲 (コニカ)
- 6-5 GAによる投影からの画像再構成 (多値画像)  
中田順一朗・尾川浩一 (法政大)
- 6-6 フレネル回折像からの計算機による像再生  
小林 勝・本田捷夫・岡田勝行 (千葉大)
- 6-7 線素成分を参照パターンに用いたパターン認識 (II)  
小林光明・亀丸俊一 (茨城大)
- 6-8 SPECT画像再構成における散乱線成分の利用  
金井洋一・三村昌弘・山口雅浩・大山永昭 (東工大)

7. 招待講演(14:40~15:40)

- 座長 井宮 淳 (千葉大)  
7-1 Retrieving Shape and Orientation in 3D-Volume Data from Second Derivatives  
Prof. Per-Erik Danielsson  
(Dept. of Electr. Eng., Linköping University, Sweden)

優秀ポスタ賞表彰(15:40~15:50)

8. 特別セッション「4次元画像処理」(15:50~18:30)

- 座長 長谷川純一プログラム委員長 (中京大)
- 8-1 多次元画像空間の記述と符号化  
原島 博・藤井俊彰・苗村 健 (東京大学)
- 8-2 立体テレビ研究の現状と展望  
磯野春雄 (NHK)
- 8-3 ホログラフィ技術による立体画像表示-現状と将来-  
本田捷夫 (千葉大学)
- 8-4 Electron Beam Tomography (EBT) による3次元CT血管造影の臨床的意義  
高宮 誠 (国立循環器病センター)

第3日 12月9日(金) 10:00~19:00

9. 医用画像(10:00~12:00)

- 座長 長谷川純一 (中京大)
- 9-1 デジタルマンモグラム処理に基づく乳癌の自動診断  
村上正行・小畑秀文 (農工大) 縄野 繁 (国立ガンセンター)  
中島延淑 (富士フィルム)
- 9-2 超音波画像を用いたファジ理論による脂肪肝の自動診断支援の試み  
藤波香織・斎藤康一・内山明彦 (早大) 橋本 洋 (東京女子医大)
- 9-3 MRIにおけるT2アーティファクト除去法の比較  
高橋秀和・尾川浩一 (法政大)
- 9-4 MAP EM画像再構成における事前確率の自動決定法  
比留間圭一・尾川浩一 (法政大)
- 9-5 GARDSを用いたヘリカルスキャンX線CTの画像再構成  
曾我峰樹・三村昌弘・山口雅浩・大山永昭 (東工大)
- 9-6 推定像の応答を考慮したSPECT画像再構成手法  
三村昌弘・山口雅浩・大山永昭 (東工大)

10. ポスタセッション(3) (13:00~14:30) (ホワイエにて)

- 10-1 カラーシェード回折パターンを用いた3次元物体形状計測  
竹崎重郎 (湘南工科大)
- 10-2 極微細LSIパターン欠陥検査におけるSEM画像処理  
伊藤 稔 (工学院大)
- 10-3 光学的マッシュフィルタリングを用いた形態変化にもとづく状態推定  
早坂伸明・豊岡 了 (埼玉大)
- 10-4 走行環境認識用広ダイナミックレンジ視覚センサ  
山田啓一・中野倫明・山本 新 (豊田中研)
- 10-5 インテリジェント画像編集システムCRESTの開発  
井上 晃・塚田正人・田島譲二 (NEC)  
佐藤洋一・北野昌秀・新井雅年 (NEC情報システム)
- 10-6 相関光学系による粒子形状計測に関する基礎研究  
大城靖彦・亀丸俊一 (茨城大) 清水 勲 (茨城高専)
- 10-7 液晶空間光変調器とサーモプラスチックを用いたホログラム記録についての検討  
木下健治 (富山商船高専)
- 10-8 Detection and Classification of Skin Spots by Applying a New Genetic Approach on a Parallel Computation System  
Andrea Kutics, Akihiko Nakagawa  
(The Institute of Physical and Chemical Research, RIKEN)
- 10-9 画像処理法を用いたMHD燃焼プラズマ計測  
大山裕之・谷津茂男・青木義明・瀬川尚之 (北大)



11. カラー・3次元表示(14:40~17:20) 座長 伊藤崇之 (NHK)
- 11-1 カラー標準画像のISO化とカラー入出力ターゲットの標準化 (特別報告)  
田島譲二 (NEC) 三品博達 (室蘭工大)  
小野善雄 (大日本スクリーン)
  - 11-2 視覚空間への射影によるカラー入力系の新しい評価法  
小寺宏暉・麓 照夫 (松下技研)
  - 11-3 感性スケールを用いた配色自動変換システム  
諸原雄大・近藤邦雄・佐藤 尚・島田静雄 (埼玉大)
  - 11-4 Taking Illuminant Discrimination and Facial Pattern Detection from Negative Color Film  
Demas Sanger・Hideaki Haneishi・Youichi Miyake (Chiba Univ.)
  - 11-5 Achromatic Image Analysis With Rainbow Holograms  
Luis M. Murillo-Mora, Katsuyuki Okada, Toshio Honda (Chiba Univ)
  - 11-6 離散的フーリエ変換 (DFT) 方式3次元ディスプレイシステム  
野村敏男・片桐眞行・賀好宣捷 (シャープ)
  - 11-7 3次元超音波画像高速回転表示システム  
神山卓也・伴 秀行・橋詰明英 (日立)  
石川 謙・坪井 晃・佐藤雅文 (日立メディコ)

優秀ポスタ賞表彰(17:20~17:30)

12. 画像デバイス(17:30~18:50) 座長 野口英男 (NHK)
- 12-1 ペン入力機能付TFT液晶パネル  
田川孝生・高浜健吾・野崎清広・山之上雅文・濃野 仁・谷口好和・川口登史・竹田 信 (シャープ)
  - 12-2 液晶レンズを用いた機械的可動部のないズーム機能  
日暮正樹・山口雅浩・大山永昭 (東工大)
  - 12-3 動画像圧縮イメージセンサ  
大野 洋・浜本隆之・相澤清晴・羽鳥光俊 (東大)  
大竹 浩・山崎順一 (NHK)
  - 12-4 高精度三次元画像計測システム  
高地・内山・佐藤・大谷・千田・野間・中村 (トプコン)

閉会の辞(18:50~19:00)

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....  
第25回画像工学コンファレンス -Japan Imaging Technology '94- 参加申込書

氏名 (複数記入可)			
連絡先 電話/FAX			
所在地 〒			
機関・所属名			
資格	会員	非会員	学生
			送金額
			¥
所属学会 (所属するすべての学会に○印をつけてください)			
応物光学	テレビ	電気	電子情報通信
印刷	レーザー	医療情報	計測制御
			非破壊検査
			JAMIT
			SPIE
			三次元映像
			和グラフィック
			情報処理

## 「第36回プログラミング・シンポジウム」参加者募集

自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を討論し、開拓することを目指した「プログラミング・シンポジウム」が今年も下記の通り開催されます。興味をお持ちの方の広範な参加を期待します。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入の上お申し込みください。

日 時 1995年1月10日(火) 11:00 受付開始(この日の昼食は用意しません) 13:00 開会  
12日(木) 12:00 閉会

場 所 箱根ホテル小涌園(神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297) Tel.(0460)2-4111  
路線バス:小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分, 箱根湯本駅~小涌園前 約30分  
タクシー:小田原駅表口箱根町行~小涌園前 約30分, 箱根湯本駅~小涌園前 約20分

参加費 (予稿集代, 宿泊費, 食費を含む。括弧内は非会員参加費)  
一般 43,000円(48,000円) 大学院学生 30,000円(35,000円)  
\*二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1994年11月30日(水)

- 注) 1. 参加申込後、やむを得ず参加を取消される場合は12月16日(金)までにお願ひします。取消の連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の方の参加は認めません。  
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申込に応じ兼ねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整下さい。  
4. 開催期間中での中途での出入りや、人員の交替はご考慮下さい。

### プ ロ グ ラ ム

#### 第1日1月10日(火)

開会の辞 [13:00~13:15]

セッション1 [13:15~15:15]

- ・非同期編集向き分散ファイルの試み 高橋俊成(東芝)
- ・ペンインタフェースを用いた分散KJ法システム 中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)
- ・ポスター発表の紹介 ポスター発表者

- 休 憩 [15:15~15:35] -

セッション2 [15:35~17:35]

- ・オブジェクト駆動型リアルタイムシステムの構築と解析 吉田 聡, 大原茂之(東海大), 沢田 勉(エルグ)
- ・マルチメディアと情報の表現 砂原秀樹(奈良先端大/電通大)
- ・コンピュータ将棋のための標準テスト問題作成の試み 松原 仁(電総研), 飯田弘之(新技術事業団)

- 夕 食 [18:00~19:00] -

自由討論 [19:30~]

#### 第2日1月11日(水)

セッション3 [9:00~10:20]

- ・演奏表情の表現と重奏システムへの応用 五十嵐滋, 辻 尚史, 千葉大春, 松下昌弘(筑波大)
- ・構文にS式を使った画像処理システムの作成 別府二郎, 多田好克(電通大)

- 休 憩 [10:20~10:40] -

セッション4 [10:40~12:00]

- ・3次元ベジェ曲線の一表現法 大野義夫(慶応義塾)
- ・マルチプレイヤーゲームを作ってみたらーギャラクティックフリートレーダーズ製作記ー 粕川正充(お茶の水大)

- 昼 食 [12:00~13:20] -

招待講演 [13:20~14:50]

- ・免疫と情報 多田富雄(東京大学名誉教授)

- 休 憩 [14:50~15:10] -

## セッション5 [15:10~17:10]

- ・冷たい心でも協調は可能かー自律エージェントの協調発現の論理ー 伊藤 昭, 矢野博之 (郵政省)
- ・リアルタイム時相表現ー状態機械によるソフトウェア仕様記述手法の提案ー 山根 智 (鳥根大)
- ・意味コンピューティングに向けて 尾内理紀夫, 高田敏弘, 鷺坂光一 (NTT基礎研)

## 報告 [17:10~17:30]

- ・夏のシンポジウム, GPCC, 山内賞の報告

ー夕食 [18:00~19:00]ー

## 自由討論 [19:30~]

## 第3日1月12日(木)

## セッション6 [9:00~10:20]

- ・自動生成を考慮した制約の定義 添野 隆, 宮寺庸造, 近谷英昭 (電機大)
- ・C言語に対する形式的意味記述の一手法 篠崎政久, 宮寺庸造, 米田信夫 (電機大)

ー休憩 [10:20~10:40]ー

## セッション7 [10:40~12:00]

- ・高級言語からFPGAへの部分コンパイルによる高速化技法の研究 斉藤正伸, 多田好克 (電通大)
- ・自然言語処理における統計情報と文法 堤 純也, 斎藤博昭 (慶応義塾)

## 閉会の辞 [12:00~12:10]

米田委員長

ー昼食 [12:10~]ー

## ポスターセッション

- ・ベン指向ウィンドウシステム「未(HITSUJI)」の研究 玉山尚太郎, 小島大吾, 平井孝史, 中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・囲碁対局システムの研究 吉田 真, 丸山 啓, 丸山真佐夫, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・日本語文章作成環境の研究 天野純一, 伊藤 聡, 丸山芳男, 雀ヶ野史子, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・システム構成を容易に変更できる OS OS/omicron V4 早川栄一, 森永智之, 加藤泰志, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
- ・文書創作活動を支援する手書き計算機環境の一つの試み 加藤直樹 (農工大)

\*デモンストレーションの場を用意しています。展示御希望の方は当日ご用意下さい。

\*一般講演は発表25分, 討論15分を予定しています。なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。

\*自由討論のテーマは参加者からアイデアを募り, 当日決定します。奮ってご参加下さい。

\*最終日は閉会后, 昼食の用意をしています。

# 「第36回プログラミング・シンポジウム」 参加申込書

平成6年 月 日

1. 参加区分 会 員 非会員 会員番号 \_\_\_\_\_
- 一般  (43,000 円)  (48,000 円)
- 大学院学生  (30,000 円)  (35,000 円)

※参加区分は、該当の□の中に入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

## 2. 送金、支払い方法

a) 当日持参します。

b) ¥ \_\_\_\_\_ を次の方法で送金します。(送金日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

- b-1) 現金書留    b-2) 郵便振替 (00150-4-83484)    b-3) 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)
- 銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945    三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人：社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通

請求先名義 \_\_\_\_\_

## 3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

- ・年齢は \_\_\_\_\_ 歳・内緒                      男・女
  - ・宿泊室は    喫煙室希望・禁煙室希望, 早寝希望
  - ・そのほか特に希望があればご記入ください。
- \_\_\_\_\_

## 4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

- ・夜の自由討論の希望テーマ \_\_\_\_\_
- ・デモンストレーション希望 \_\_\_\_\_

## 5. 申込み先 (下記まで郵送か Fax で送付のこと)

情報処理学会 「プログラミング・シンポジウム」係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

申込者			
連絡先	〒	_____	
機関・	_____		
部課名	_____		
フリガナ	_____		
氏 名	_____	殿	

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

e-mail \_\_\_\_\_ (公開可能な方のみ)

注) 枠内をコピーして宛先として案内を郵送できるようご記入ください。

FIRST CALL FOR PAPERS  
 1995年 並列処理シンポジウム  
 1995 Joint Symposium on Parallel Processing

JSPP'95

福岡市

1995年5月15日(月)~17日(水)

今回で7回目を迎える並列処理シンポジウム JSPP は、単に並列処理に留まらず、分散、協調処理などに関する学際的な課題をめぐって、基礎理論、アルゴリズム、ソフトウェア、アーキテクチャ、応用などの広い範囲にわたって、研究発表および議論を行う研究交流の場の一つとして確立されて参りました。今回は、アーキテクチャ、ソフトウェアなどのシステム関連分野に加えて、基礎理論および応用関連の分野についてもこれまでに以上に積極的なご投稿を期待しています。学際的な並列処理研究のなご一層の発展を目指して、多数ご投稿下さるようお願い致します。

◇ テーマ 並列処理の理論・実践・応用

- 基礎理論、計算モデル、アルゴリズム
- オペレーティングシステム
- データベースシステム
- 数値計算応用
- スーパーコンピューティング
- 光コンピューティング
- 並列処理教育
- プログラミング言語、言語処理系、支援環境
- アーキテクチャ
- 人工知能応用、人工生命応用
- コンピュータグラフィックス、可視化
- ニューロコンピューティング
- システム性能評価
- その他

◇ 投稿方法

以下の要領に従って投稿論文と投稿申込票を作成し、1994年12月22日までに下記の投稿申込先までお送り下さい。プログラム委員会において匿名審査を行い、シンポジウムでご講演頂く論文を決定します。

● 投稿論文

題目、概要、本文、図表、および、参考文献を含めてA4版8頁以内のフルペーパーを日本語または英語で記述して下さい。研究の技術的内容に加えて、研究の目的、重要性、新規性、他の研究との関連性を明らかにするよう心がけて下さい。様式は、本シンポジウムのこれまでのカメラレディ原稿に準拠して下さい。ただし、匿名審査の関係上、著者名、所属、謝辞などは記載しないようご注意ください。また、頁数を超過した論文などは審査の対象と致しませんのでご注意ください。投稿論文は8部コピーを作成して(両面コピーを歓迎します)、下記の投稿申込先までご郵送下さい。

● 投稿申込票

A4版1枚に論文の題目、著者名、所属、上記テーマのうち該当するものを3個以内(「その他」の場合は、具体的にご記入下さい)、連絡先1名の方の氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを記載して、投稿論文と一緒に1部ご郵送下さい。

また、事務処理簡素化のため、上記投稿申込票を郵送すると同時に電子メールでもお送り頂けると助かります。投稿申込票のフォーマットは、ネットニュース fj.meetings に定期的にポストされる「論文募集」に添付してあります。また、jsp95@is.kyushu-u.ac.jp宛にご請求頂ければ、フォーマットを返送します。

◇ 日程

1994年12月22日(木) 発表申込締切  
 1995年 3月 1日(水) 審査結果通知  
 1995年 3月31日(金) カメラレディ原稿締切

◇ 問合せ先(投稿申込先)

〒816 春日市春日公園 6-1  
 九州大学 大学院総合理工学研究科  
 情報システム学専攻内 JSPP'95 係  
 TEL: (092)583-1340  
 FAX: (092)583-1338  
 E-mail: jsp95@is.kyushu-u.ac.jp

◇ 主催

情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会  
 同・データベースシステム研究会  
 同・システムソフトウェアと  
 オペレーティングシステム研究会  
 同・アルゴリズム研究会  
 同・プログラミング—言語・基礎—実践—研究会  
 同・ハイパフォーマンスコンピューティング研究会  
 電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会  
 同・データ工学研究会  
 人工知能学会・並列人工知能研究会

◇ 実行委員会

委員長 : 雨宮 真人  
 副委員長: 斎藤 信男, 荒木 啓二郎, 小柳 滋  
 幹事 : 村上 和彰, 日下部 茂, 川倉 康嗣

## 「第3回ネットワークとプロトコルに関する国際会議(IEEE ICNP-95)」 論文募集のご案内

高速ネットワークの進展により、ネットワーク関連技術の重要性が高まっています。このような背景のもと、本会議は、昨年第1回がIEEE-CS主催で開催されました。現在注目を浴びている情報ハイウェイ構想等を具現化していくためには、高速ネットワーク技術およびマルチメディア通信技術等が重要な研究課題になっています。そこで本会議では、来る高速ネットワーク時代に向けたネットワーク関連技術について、最新の研究成果および今後の進むべき方向等について議論したいと考えておりますので多数の論文投稿をお願いします。

日 時 平成7年11月7日(火)～10日(金)  
会 場 日本電気(株) 本社ビル  
共 催 情報処理学会, IEEE Computer Society  
論文応募締切 平成7年3月1日(水)必着  
採否通知 平成7年6月15日(木)までに通知  
カメラレディ最終論文提出締切  
平成7年8月1日(火)必着  
照会先 滝沢 誠(東京電機大学)  
Tel.(0492)96-2911(ext.2507) Fax.(0492)96-6185  
e-mail: taki@takilab.k.dendai.ac.jp  
\*お問合せはできるだけe-mailをお願いします。

## 第4回「基礎研究の振興と工学教育シンポジウム」参加者募集 — 21世紀へ向かっての大学・学協会の連帯と社会教育 —

日 時 平成6年12月19日(月)10:00～16:50  
会 場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)  
参加費 5,000円

### プ ロ グ ラ ム

10:00～10:10	開会挨拶	石川六郎(日本工学会)
10:10～10:50	大学の理工系分野の魅力向上と情報発信について	本間政雄(文部省)
10:50～11:30	工学教育に関する意識調査	青山吉隆(徳島大)
11:30～12:10	大学の理工系分野の教育に望む	未定
— 休 憩 —		
13:10～13:50	鉱業博物館のリフレッシュと社会活動	丸山孝彦(秋田大)
13:50～14:30	早稲田大学理工学総合研究センター構想	松本和子(早大)
— 休 憩 —		
14:40～15:20	創造豊かな人格形成と人間教育への取組	幡野 純(東理大)
15:20～16:00	理工学系学協会の社会教育活動	内田盛也(日本工学会)
— 休 憩 —		
16:10～16:40	自由討議	
16:40～16:50	閉会挨拶	田中郁三(日本工学会)
17:10～18:30	懇親会	

申込締切 平成6年12月5日(月)必着  
申 込 先 (社)日本工学会「シンポジウム」係宛  
〒107 東京都港区赤坂9-6-41 Tel.(03)3475-4621 Fax.(03)3403-1738

## 支部だより

## 東海支部 講演会

日時 平成6年10月17日(月) 13:00～15:00  
 会場 名古屋大学工学部情報工学科講義室(8号館北館102号室)  
 演題 Horizons of Parallel Computing Franco Preparata (ブラウン大学/アメリカ)  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 照会先 〒464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部情報工学科 稲垣康善 Tel.(052)789-3306  
 または 高木直史 Tel.(052)789-3312

## 講演会

日時 平成6年11月18日(金) 14:00～16:00  
 会場 名古屋工業大学附属図書館 3F 視聴覚室  
 演題 論理プログラミング, デフォルト論理における証明系について(仮題) 佐藤 健(富士通研究所)  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 照会先 〒466 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学知能情報システム学科 世木博久  
 Tel.(052)732-2111 (ext.2624)  
 共催 電子情報通信学会東海支部

## 北陸支部 見学会・講演会

日時 平成6年11月28日(月)  
 会場 インテック本社 タワー111(JR富山駅北口 徒歩3分)  
 参加資格 会員以外の方でも参加できます。  
 見学会 時間: 14:45～15:45 集合: 21F会議室 内容: タワー111のインテリジェント機能  
 講演会 時間: 16:00～17:30 場所: 21F会議室  
 「パソコンLANによるマルチメディアの可能性と問題点」  
 信州大学工学部情報工学科教授 中村 八束 氏  
 照会先 〒930 富山市五福3190 富山大学工学部 電子情報工学科内 情報処理学会北陸支部事務局  
 Tel.(0764)41-1271(ext.2707) または,  
 〒930 富山市牛島新町5-5 インテック北陸地区本部 Tel.(0764)44-1111

## ソフトウェア研究会特別会・関西支部講演会 共催について

日時 平成6年10月19日(水) 13:30～16:00  
 会場 INSプラザ(NTT情報文化センター)会議室(〒530 大阪市北区堂島3-1-21 NTTデータ堂島ビル)  
 内容 テーマ「プログラムの自動合成」  
 (1)「プログラム自動合成に関する解説」(講師未定)  
 (2)「Tools for Automatic Program Construction in NUT」  
 Royal Institute of Technology, Sweden Enn Tyugu 氏  
 資料代 ソフトウェア研究会メンバーの方は不要, メンバー以外の方は300円(当日持参)です。  
 申込方法 所属機関名, 部課, 役職名, 氏名, 電話番号, FAX番号を, FAXにて関西支部事務局まで送信下さい。  
 \*参加証は発行いたしませんので, 申し込まれた方は当日時間厳守の上, 会場へお越し下さい。  
 申込/照会先 情報処理学会関西支部  
 〒530 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター内  
 Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443

## 四国支部 講演会

日時 平成6年11月4日(金) 14:00～16:00  
会場 徳島大学工学部知能情報工学科 図書室(徳島市南常三島町2-1)  
演題 Fact and Fiction in Learning with a Critic  
講師 Queensland University of Technology (Brisbane, Australia) Professor Joaquin Sitte  
照会先 徳島大学工学部知能情報工学科 大松 繁 Tel.(0886)56-7508 Fax.(0886)56-7511  
email: omatu@is.tokushima-u.ac.jp

## 講演会

日時 平成6年11月24日(木) 10:30～12:00  
会場 高知大学理学部情報科学科講義室  
演題 Information dynamics -Recent advances in higher-order thermodynamics  
講師 N.Copernicus University (Torun, Poland) Professor Roman S. Ingarden  
照会先 〒780 高知市曙町2-5-1 高知大学情報科学科事務室 Tel.(0888)44-0111 (ext.1280)



## 会費・購読費の預金口座自動振替納入について

平成7年度会費・購読費のご納入には、便利な預金口座自動振替をおすすめします。

正会員(一括扱いの会員は除く)の方は、会費・購読費を毎年3月27日(休日の場合は翌営業日)にご指定の銀行口座から自動振替により納入することができます(研究会登録費は取扱いません)。

希望される方は、所定の預金口座振替依頼書(Vol.35 No.9 会告 P51 に添付)にてお申し込みください。

## 平成6年度会費・購読費の納入について(お願い)

本年度の会費・購読費未納の方へ、本誌6月号でご納入の案内を掲載し、6月下旬に郵便振替用紙を発送いたしました。が、まだ未納の方が多数おられますので、11月中旬に再度郵便振替用紙を発送いたします。

お近くに会費・購読費未納の方がおられましたら是非お声をかけていただきますようお願いいたします。(なお、未納の方の学会誌・論文誌の発送を9月号より停止しております。)



## 教官募集



### ●広島商船高等専門学校

募集人員 助手1名  
 担当科目 電気・電子工学の講義および実験実習，卒業研究の指導  
 応募資格 修士課程修了以上（含，見込）またはこれと同等の能力を有する30歳以下の方  
 着任時期 平成7年4月1日  
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷（3編以内），着任後の教育・研究の抱負（1000字程度）  
 名以上），教育研究計画書  
 応募締切 平成6年11月22日  
 送付先 〒725-02 広島県豊田郡東野町4272-1 広島商船高等専門学校商船学科主任 松野 理 「教官公募書類」と  
 照会先 朱書し書留 Tel.(08466)5-3101

### ●山口大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 教授1名  
 所属 応用システム工学大講座，「計画工学」教育研究分野  
 担当科目 数理計画学Ⅰ，Ⅱ，システム計算学特論等  
 専門分野 OR，管理工学およびこの関連分野  
 応募資格 博士号取得者で博士後期課程の指導研究が可能な方  
 着任時期 平成7年4月1日  
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，論文別刷（各2部）  
 応募締切 平成6年11月30日  
 送付先 〒755 宇部市常盤台2557 山口大学工学部知能情報システム工学科主任 山口静馬  
 照会先 Tel.(0836)35-9481 Fax.(0836)29-0053

### ●湘南工科大学情報工学科

募集人員 教授1名  
 担当科目 計算機関連科目，情報工学実験，演習その他関連科目  
 専門分野 計算機工学またはその関連分野  
 応募資格 博士号取得者で大学院での指導の可能な60歳前後までの方  
 着任時期 平成7年4月1日  
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，今後の研究計画および教育に対する抱負，推薦書本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先（2名）  
 応募締切 平成6年11月30日  
 送付先 〒251 藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局庶務課 「情報工学科教員応募書類」と朱書し書留  
 照会先 庶務課長または学科長 杉山 宏 Tel.(0466)34-4111

## ●東京農工大学工学部電子情報工学科

募集人員 教授 1名  
所 属 情報工学大講座  
応募資格 博士号取得者で情報システム学, 計算機科学の基本部分の指導研究が可能な 50 ~ 55 歳程度の方  
着任時期 決定後なるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先 (1名以上), 教育研究計画書  
応募締切 平成 6 年 12 月 1 日 (候補者決定まで受付)  
送 付 先 〒 184 小金井市中町 2-24-16 東京農工大学工学部情報工学講座教官選考委員長 中森真理雄  
照 会 先 Tel.(0423)88-7140 Fax.(0423)85-9747 e-mail:nakamori@cc.tuat.ac.jp

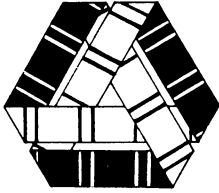
## ●立命館大学理工学部

募集人員 教授または助教授若干名  
専門分野 光情報処理または光通信関連分野  
応募資格 博士号取得者で 50 歳位までの方  
着任時期 平成 7, 8, 9 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 研究・教育に対する抱負  
応募締切 平成 6 年 12 月 15 日  
送 付 先 〒 525 草津市野路町 1916 立命館大学理工学部長 得丸英勝 「○○分野教員応募書類」と朱書き書留  
照 会 先 電気電子工学科 岡田正勝 Tel.(0775)61-2680 Fax.(0775)61-2663 または,  
中西恒彦 Tel.(0775)61-2674 Fax.(0775)61-2663

## ●高知大学理学部情報科学科

募集人員 助手 2 名  
専門分野 情報科学・工学分野  
応募資格 博士号取得者 (含, 見込)  
着任時期 平成 7 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可), 今までの研究業績および今後の研究計画 (2000 字程度), 推薦書 (2 名)  
応募締切 平成 7 年 1 月 9 日  
送 付 先 〒 780 高知市曙町 2-5-1 高知大学理学部情報科学教室 楠瀬昌彦 「応募書類在中」と朱書き書留  
照 会 先 Tel.(0888)44-8333 Fax.(0888)44-8361 e-mail:kusunose@is.kochi-u.ac.jp

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*：本年既掲載分，\*\*：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手90円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1.開催日 2.会場 3.問合せ先 4.その他

### 国際会議

#### 「並列／分散処理によるLSI-CAD」ワークショップ (057)

- 1994年12月15日(木)～16日(金)
- シェーンバッハ砂防(東京都千代田区平河町)
- 神戸大学工学部情報知識工学科 瀧 和男  
Tel.(078)803-1185 Fax.(078)803-1218  
e-mail:pddaws@picasso.seg.kobe-u.ac.jp
- 発表概要締切：1994年10月21日

#### IEA 95-The 8th Int'l. Conf.on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (058)

- June 5-9,1995
- Melbourne,Australia
- Dr Moonis Ali,AE Conventions P/L,PO Box E181,Queen Victoria Terrace,ACT 2600,Australia  
Fax.+1(512)245 8750
- Submissions papers:November 18,1994

#### The 6th International Conference on Advances in Production Management Systems (059)

- 1996年11月4日～6日
- 国立京都国際会館(京都市左京区宝が池)
- 京都大学工学部応用システム科学教室 沖野 教郎  
Tel.(075)753-5901 Fax.(075)753-5517  
e-mail:okino@kuamp.kyoto-u.ac.jp

### 国内会議

#### 第44回科学講演会「電波と光で宇宙をみる」

- 平成6年10月4日(火)
- 有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

- (財)東レ科学振興会  
Tel.(0473)50-6103 Fax.(0473)50-6082
- 入場無料

#### 第17回理化学研究所科学講演会

- 平成6年10月26日(水)
- ヤクルト本社ビル(東京都港区東新橋)
- (財)理化学研究所 開発調査室  
Tel.(048)462-1111

#### 音声対話理解シンポジウム'94

- 平成6年11月24日(木)
- KKRホテル東京(東京都千代田区大手町)
- 主催：文部省重点領域研究「音声対話」総括班  
問合せ先：京都大学工学部情報工学教室 堂下 修司  
Tel.(075)753-5376 Fax.(075)753-5977

#### 1995 情報学シンポジウム

- 1995年1月12日(木)～13日(金)
- 日本学術会議講堂(東京都港区六本木)
- 日本学術会議事務局 Tel.(03)3403-6291
- 資料代：会員 8,000円 学生 3,000円  
一般 12,000円

#### CTRONオープンフォーラム

- 平成6年11月8日(火)
- 東京流通センター(東京都大田区平和島)
- (財)トロン協会  
Tel.(03)3454-3191 Fax.(03)3454-3224
- 参加費：無料

#### AVIRG-IEEE:SMC 賢人セミナー「脳の時代」

- 平成6年10月26日(水)
- 慶応義塾大学三田キャンパス(東京都港区)
- 電子技術総合研究所画像研究室内 山本和彦  
Tel.(0298)54-5491 Fax.(0298)58-5949  
e-mail:yamamoto@etl.go.jp
- 参加費：会員 3,000円 一般 4,000円

#### 第13回光波センシング技術研究会

- 1994年12月14日(水)～15日(木)
- 大宮ソニックシティ(大宮市)
- C F B C 気付 光波センシング技術研究会事務局  
Tel.& Fax.(03)3466-1899
- 参加費：10,000円～12,000円 学生 3,000円

#### 第2回人工物工学国内シンポジウム

- 1994年11月21日(月)～22日(火)
- 東京大学山上会館
- 東京大学人工物工学研究センター 第2回人工物工学国内シンポジウム事務局  
Tel.(03)5453-5882 Fax.(03)3467-0648  
e-mail:race-symposium@race.u-tokyo.ac.jp
- 参加費：無料

## 編集室



企業の係わりがもう少し密にならなければ、今後アメリカあたりにどんどん差をつけられそう。

(吉野克之 / (株) 日立製作所)

・この学会誌には、会員相互の対話が見られない点に親しみにくさを覚える。時には分野を越えるような Q&A や、誌上討論などの記事があってもよいのではないか。

(桑畑和佳子 / IPA)

## 会員の声

・8月号の巻頭言「企業と大学」は、興味深かった。「企業なんて」と思っている大学と、「大学の教育なんて」と思っている

## 有料会告について

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については、下記により有料にて取り扱いますのでお知らせします。なお、会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

## 記

## 掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金
行事次第書	国際会議，シンポジウム，講演会，講習会等の論文募集・参加案内に限る。	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 60,000 円
教官募集	学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。	1 / 5 ページ	1 件あたり 20,000 円

**申込方法** 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

## 原稿の書き方

**行事次第書**：原則として B5 判カメラレディとします。B5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本学会告記載内容をご参照願います。

**教職員募集**：求人側の必要事項を明記してください。

\*なお，フロッピーディスクまたは e-mail でも受け付けますので，ご相談ください。

**申込期限** 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

**掲載料金** 掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月月末までにお支払いください。

**申込先** (社) 情報処理学会 有料会告係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534